

平成 28 年度

入学者選抜要項



平成 27 年 7 月

千葉大学

千葉大学入学者受入れの方針

1 千葉大学の求める入学者

千葉大学は、総合大学として多様な研究・教育組織から構成されており、その知的環境を十分に利用して、問題解決能力を培い、創造的能力を育み、自発的な精神を養い、社会と文化の発展とともに、人類の平和と地球環境の保全に貢献する人材の養成をめざしています。

千葉大学は『つねに、より高きものをめざして』の理念のもと、次のような向上心あふれる学生の入学を求めています。

- ・ 現代社会を生きていく人間として欠くことのできない国際的、倫理的、知的な素養を備え、さらに向上させていこうとする熱意を持つ人
- ・ 本学での修学について強い好奇心、関心を持ち、問題について自発的に探求し、問題解決の能力を高めていこうとする意欲を持つ人
- ・ 本学入学後の修学に必要な基礎学力として十分な知識・実技能力を持つ人

2 入学者選抜の基本方針

千葉大学は、複数の受験機会と多様な入試を提供しています。本学の教育理念・目標に見合う学生を選抜するため、一般入試の他に特別入試として、AO入試、推薦入試、理数大好き学生選抜、経済学特進プログラム選抜、社会人入試、3年次編入学、私費外国人留学生入試、帰国子女入試、さらに先進科学プログラム(飛び入学)学生選抜を実施しています。本学の入試では、大学入試センター試験、個別学力検査、調査書、面接及び小論文などを組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価します。

3 入学までに身に付けて欲しいこと

基礎学力としての十分な知識と共に、他の人との関わり合いの中でコミュニケーション能力を身に付けてください。

さらに広く社会に目を向け幅広い知識を養い、豊かな人間性と社会や学問に対する強い好奇心を高めてください。

これらは、本学に入学してから知識・技能を生かす底力となるでしょう。

なお、各学部・学科(課程)の入学者受入れの方針については、本学ホームページ(<http://www.chiba-u.jp/exam/gakubu/adpolicy.html>)等をご覧ください。

目 次

1. 千葉大学における学部改組等	(2)
2. 入学者選抜日程の概要	(8)
(1) 一般入試	(8)
(2) 特別入試	(8)
3. 募集人員	(10)
4. 入学者選抜方法等	(13)
(1) 一般入試	(13)
(2) 特別入試	(14)
5. 一般入試	(15)
(1) 出 願	(15)
ア 出願資格	(15)
イ 出願の際の留意事項等	(15)
(2) 入学者選抜	(15)
ア 選抜方法等	(15)
(ア) 選抜方法	(15)
(イ) 2段階選抜の実施	(15)
(ウ) 合否判定基準	(16)
イ 実施教科・科目等	(16)
(ア) 大学入試センター試験の指定教科・科目等	(16)
(イ) 個別学力検査等の出題教科・科目等	(23)
(ウ) 教育学部小学校教員養成課程 音楽科選修 演奏実技の実施要領等	(28)
(エ) 教育学部中学校教員養成課程 音楽科教育分野 楽典・聴音・演奏実技の実施要領等	(28)
(オ) 国際教養学部における外国語検定試験の成績の利用	(29)
ウ 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点	(30)
エ 身体等に障害を有する入学志願者の事前相談	(32)
6. A O入試	(33)
7. 推薦入試	(34)
8. 理数大好き学生選抜	(38)
9. 経済学特進プログラム選抜	(40)
10. 帰国子女入試	(41)
11. 社会人入試	(43)
12. 先進科学プログラム（飛び入学）学生選抜	(44)
13. 私費外国人留学生入試	(47)
14. 次年度入学者選抜方法の変更（予告）	(51)
15. 学部への問い合わせ及び一般入試・特別入試学生募集要項等の請求方法	(63)

※ 本学の入試実施に関して変更等が生じる場合は、速やかにホームページ (<http://www.chiba-u.jp/>) 等でお知らせします。

1. 千葉大学における学部改組等

千葉大学では、平成 28 年度入学者選抜（平成 28 年 4 月入学）において、国際教養学部の設置並びに文学部の学部改組を予定しています。これらの計画は文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果を受けて確定するので変更がありえます。

なお、教育学部において一部課程等の学生募集停止も予定しており、国際教養学部の設置、文学部の学部改組が文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果を受けて確定すれば、千葉大学において全学的な入学定員の移行を行います。

(1) 国際教養学部の設置

平成 28 年度入学者選抜において、現行の 9 学部に加えて新たに国際教養学部を設置することを予定しています。この計画は文部科学省に認可申請中であり、その審査結果を受けて確定するものです。ついては、この入学者選抜要項に掲載する国際教養学部の学科名称、入学定員などは、現時点では全て予定であり、変更がありえます。

確定した内容については、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知後（平成 27 年 9 月頃を予定）に千葉大学ホームページにて公表する予定です。

ア 国際教養学部の概略図

学部名	学科名	入学定員	学位
国際教養学部	国際教養学科	90 名	学士（国際教養学）

イ 国際教養学部・学科の目的

本学部は、「つねに、より高きものをめざして」という千葉大学の基本理念に基づき、既存の学問分野単独では対応が困難な地球規模で生起する複雑な問題群の解決に寄与すべく、グローバル社会・現代日本・地域という複合的視点から国際理解と日本理解の双方を備えた上で、俯瞰的視野、多元的な視点でものごとを考え、日本独自の視点から課題を発見・解決し、当該解決策を世界へ発信することができる人材の育成を目的としています。

ウ 国際教養学部・学科の概要

本学部は、「国際」「日本」「科学」の混合（ブレンド）によって、新たな価値を創造するために、特定の学問分野の中で専門性を高める既存の学部とは異なり、人文社会科学・自然科学・生命科学の学問分野を混合しながら、その中で課題を発見し、さらにその課題を実践的に解決する過程を通じて、専門性を高めていくことを特徴としています。

そして、目的とする人材の育成を実現するために、特定の専門領域に限定しない文理混合教育により俯瞰力を修得し、この俯瞰力を基礎として、グローバルな世界を舞台にした社会的学びや主体的学びを中心とした新たな教育手法をとります。これにより、

- 【1】日本および世界を分析する力
 - 【2】日本および世界において解決すべき課題を発見する力
 - 【3】課題解決に必要な知識を多くの学問分野から自ら選択する力
 - 【4】知識と方法を課題解決に向けて横断的に統合する力
 - 【5】卒業研究や卒業論文を通じた課題を解決する力
 - 【6】国際理解と高度な英語運用能力に基づき解決策を世界に向けて発信する力
- といった能力を段階的に修得していきます。

エ 国際教養学部・学科の教育課程

本学部では、以下のカリキュラムに沿って学修することで、課題の発見・解析・解決能力を体系的に身に付けることができます。

【全学共通科目】

① 普遍教育科目

全学の共通教育科目であり、学問の基礎について広く学んでいきます。具体的には、「外国語科目」、「情報リテラシー科目」、「スポーツ・健康科目」、「教養コア科目」、「教養展開科目」がそれに該当します。

【学部専門科目】

② 俯瞰科目

人文社会科学・自然科学・生命科学の学問領域を混合し、分野を超えた俯瞰力を身に付ける科目です。

③スキル形成科目

課題解決をするために必要とされる基礎的な技能を身に付ける科目です。

④フィールド科目

「現場で学ぶ，現場を学ぶ」をコンセプトとして，国内外におけるインターンシップ，ボランティア等の現場体験を通じ，課題発見能力と解決能力を身に付ける科目です。

⑤ワールド科目

「世界で学ぶ，世界を学ぶ」をコンセプトとして，協定校を中心とした海外派遣プログラムを通じ，課題発見能力と解決能力を身に付ける科目です。

⑥メジャー科目

「グローバルスタディーズ」・「現代日本学」・「総合科学」の3つの科目群から形成され，学生はそのうち1つの科目群を選択することになりますが，選択した科目群のみではなく，3つの領域を横断的に学ぶことにより，課題を解析する知識や諸方策を身に付けます。

○グローバルスタディーズ

移民・環境・紛争等の地球規模の視野を持って解決すべき諸問題の解析・解決に必要な科目群です。

○現代日本学

現代日本の文化・技術・社会等が抱える諸問題の解析・解決に必要な科目群です。

○総合科学

先端科学・社会・生命・サイエンスコミュニケーション等の諸科学を学び，現代科学を社会的視点から問い直すために必要な科目群です。

⑦メジャープロジェクト科目

グループワークやグループディスカッション等を通じて，中心的に取り組む課題を選択し，その解決方法や発信技術を学ぶ科目です。3年次初めから継続的に学修していきます。

なお，本学部を卒業するためには，長期・短期を含め，在学中に1回以上の海外での学修経験が必要となります。また，「授業科目のナンバリング」，「ターム制（原則8週間毎の授業設定）」，「単位の履修登録上限制度（キャップ制）」等を導入することで，学修の質を高めていきます。

オ 国際教養学部の卒業後の進路

本学部で得た能力を基盤として，国際公務員をはじめ，公共機関や企業の国際・企画部門，国際的なNGO／NPO職員および大学院への進学等，多様性を持つ進路を想定しています。

カ 国際教養学部の平成28年度入学者選抜（平成28年4月入学）の概要

平成28年度入学者選抜の選抜日程，募集人員，大学入試センター試験の指定教科・科目並びに個別学力検査の出題教科・科目及び配点などの選抜方法については，10～31ページを参照してください。

(2) 文学部の学部改組

文学部では、平成 28 年 4 月入学者から現行の 4 学科（行動科学科、史学科、日本文化学科、国際言語文化学科）を 1 学科（人文学科）に再編する学部改組を予定しています。この計画は文部科学省に認可申請中であり、その審査結果を受けて確定するものです。

ついては、この入学者選抜要項に掲載する文学部の学科名称、コース名称、入学定員などは、現時点では全て予定であり、変更がありえます。確定した内容については、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知後（平成 27 年 9 月頃を予定）に千葉大学ホームページにて公表する予定です。

ア 学部改組の概略図

改組後（平成 28 年度）					改組前（平成 27 年度）			
学部名	学科名	入学定員	コース※	学士号	学部名	学科名	入学定員	
文学部	人文学科	170	行動科学コース	学士 (文学)	文学部	行動科学科	77	計 180
			歴史学コース			史学科	33	
			日本・ユーラシア文化コース			日本文化学科	33	
			国際言語文化学コース			国際言語文化学科	37	

※ あらかじめ専門コースを選択した上で受験し、入学時に所属する専門コースを決定します。ただし、2 年次進級時にコースの再選択（転コース）も可能です。（ただし、教室設備等の関係により、一定の人数制限があります。）

※ 文学部の学部改組の他に国際教養学部の設置も予定しています。国際教養学部の設置が確定した場合には、文学部から国際教養学部に入学者 10 名分が移行する予定であり、文学部の入学定員は 180 名から 170 名に減員となります。

イ 学部改組の概要

文学部は、行動科学、歴史学、日本・ユーラシア文化学、国際言語文化学など、他にあまり例を見ない特徴的な学問分野における教育・研究を発展させてきました。この特徴を最大限に活かしつつ、同時に国際性や社会性を養うための共通基礎教育を充実させるために、現行の 4 学科（行動科学科、史学科、日本文化学科、国際言語文化学科）を 1 学科（人文学科）に統合してコース制を導入し、あわせて、専門コースの枠組を越える柔軟な履修を実現します。

ウ 学科の統合とコース制のメリット

受験者は、従来と同様に、入学前に自身の希望に従って専攻分野（専門コース）を決定することができ、また、入学時に選択した専門コースでの履修が保証されます。同時に、1 年次には様々な分野の共通基礎科目を幅広く履修し、自己の問題関心や学問的視野を広げた上で、2 年次進級時に、一定の割合でコースの再選択（転コース）も可能です。これにより、学びたい学問分野を入学前から選択した上で深く学んでいくことも、人文科学の隣接領域にまで幅広く目配りした上で、改めて自分の専攻したい領域を考え直すことも、どちらも可能になり、選択の幅が広がります。（改組後の各コースの詳細については、計画確定後、文学部ホームページにて公表します。）

エ 各コースの概要

- ① 行動科学コース：人間とその行動の多様な側面について、総合的、かつ学際的な教育・研究を行う。哲学・認知情報科学・心理学・社会学・文化人類学などの学問領域を含む。
- ② 歴史学コース：文献史料のみならず、モノ、イメージなどの多彩な資料を複合的に利用しつつ、世界史的な視野から多面的に人類の歴史を考察する。
- ③ 日本・ユーラシア文化コース：日本の言語・文学・思想・民俗・芸能などの諸文化を多面的な視野から見つめると同時に、日本文化と深い関わりを持つユーラシア大陸における諸民族の言語・文化等を考察する。
- ④ 国際言語文化学コース：ヨーロッパ文化、英語圏文化を中心に、言語・文学・文化の多様性や国際関連性、さらにその内部構造についての多角的・多元的な教育・研究を行う。

オ 改組が確定した場合の平成 28 年度入学者選抜における募集人員（平成 28 年 4 月入学）

改組が確定した場合、文学部における平成 28 年 4 月入学者の募集人員は次ページ表のとおりとなります。

改組が確定した場合の募集人員						昨年度（平成 27 年度入学者選抜）の募集人員				
学科等		一般入試		特別入試		学科等	一般入試		特別入試	
		前期 日程	後期 日程	推薦 入試	社会人 入試		前期 日程	後期 日程	推薦 入試	社会人 入試
人 文 学 科	行動科学コース	49	15	9	-	行動科学科	51	16	10	-
	歴史学コース	23	3	5	若干名	史学科	23	3	5	2
	日本・ユーラシア文化コース	28	3	-	-	日本文化学科	28	5	-	-
	国際言語文化学コース	25	-	10	-	国際言語文化学科	26	-	11	-

※ 改組が確定した場合の各コースの募集人員はおおよその人数であり、志願状況等により増減がありえます。

※ この表に記載する改組が確定した場合の募集人員は国際教養学部を設置及び文学部の学部改組が確定した場合の人数です。

カ 改組が確定した場合の平成 28 年度入学者選抜方法（平成 28 年 4 月入学）

改組が確定した場合、文学部における平成 28 年 4 月入学者の一般入試及び特別入試における選抜方法等は次のとおりとなります。（改組が確定しなければ、現行の文学部 4 学科での選抜となります。）

① 平成 28 年度入学者選抜の大学入試センター試験の指定教科・科目、個別学力検査の出題教科・科目及び配点などの選抜方法は、現行の文学部 4 学科で予定している選抜方法で実施します。

詳しくは平成 28 年度千葉大学入学者選抜要項（本誌）に掲載していますので、該当するページを参照してください。（一般入試は 10～31 ページ、特別入試は 34, 43, 45, 47～50 ページ）

なお、現行の文学部 4 学科は、次のとおり専門コースに移行します。改組前の学科に対応する専門コースに出願してください。

学部名	学科名	コース（改組後）	学科（改組前）
文学部	人文学科	行動科学コース	行動科学科
		歴史学コース	史学科
		日本・ユーラシア文化コース	日本文化学科
		国際言語文化学コース	国際言語文化学科

② 出願した専門コースで合格すれば「人文学科」の志願した専門コースに所属します。ただし、2 年次進級時に別の専門コースへ進むことを希望すれば、その専門コースへ進むこともできます（教室設備等の関係により、一定の人数制限はあります）。

(3) 教育学部の一部課程等における学生募集停止等

ア 一部課程等における学生募集停止

教育学部では、平成 28 年度入学者選抜（平成 28 年 4 月入学）から次の課程・分野の学生募集を停止することを予定しています。そのため学生募集を停止する予定の課程・分野においては入学者選抜を行わないのでご注意ください。

学生募集を停止する課程・分野		学生募集を停止する入試 (前年度入学者選抜における募集人員)				
		一般入試 前日程	特別入試			
			推薦 入試	帰国子女 入試	社会人 入試	私費外国人 留学生入試
中学校教員養成課程	総合教育分野	5	—	—	—	若干名
	教育心理分野	5	—	—	—	若干名
	情報教育分野	5	—	—	—	若干名
スポーツ科学課程		12	3	—	—	若干名
生涯教育課程		14	6	若干名	若干名	若干名

イ 小学校教員養成課程における選修名の変更

平成 28 年度入学者選抜から小学校教員養成課程の選修名を以下のとおり変更します。

【変更後】		【変更前】
選修名		選修名
教育学選修	←	総合教育選修
教育心理学選修		教育心理選修

(4) 平成 28 年度入学者選抜における入学定員の移行

平成 28 年度入学者選抜（平成 28 年 4 月入学）において、国際教養学部^{（設置予定）}の設置、文学部の学部改組、教育学部の一部課程の学生募集停止を行う予定であり、文部科学省の審議結果を受けて確定した場合には、次のとおり千葉大学において全学的な入学定員の移行を行います。

ついては、この入学定員の移行を行う学部においては、平成 28 年度入学者選抜における一般入試、特別入試の募集人員も変更する予定です。

入学定員移行後（平成 28 年度入学者選抜）			入学定員移行前（平成 27 年度入学者選抜）			
学 部	学 科 ・ 課 程	入学定員	学 部	学 科 ・ 課 程	入学定員	
国際教養学部	<u>国際教養学科</u> <u>（設置予定）</u> ※入学定員（90 名）は他の学部から移行	<u>90</u>	-	-	-	
文学部	<u>人文学科</u> <u>（改組予定）</u>	<u>170</u>	文学部	行動科学科	77	
教育学部	中学校教員養成課程 ※総合教育分野，教育心理分野，情報教育分野は学生募集停止予定	<u>85</u>	文学部	史学科	33	
	学生募集停止予定		文学部	日本文化学科	33	
	学生募集停止予定		文学部	国際言語文化学科	37	
理学部	数学・情報数理学科	<u>44</u>	教育学部	中学校教員養成課程	100	
	物理学科	<u>39</u>		スポーツ科学課程	15	
	化学科	<u>39</u>		生涯教育課程	20	
	生物学科	<u>39</u>		理学部	数学・情報数理学科	45
	地球科学科	<u>39</u>		理学部	物理学科	40
工学部	建築学科	<u>69</u>	理学部	化学科	40	
	都市環境システム学科	<u>49</u>	理学部	生物学科	40	
	デザイン学科	<u>64</u>	理学部	地球科学科	45	
	機械工学科	<u>74</u>	工学部	建築学科	70	
	メディカルシステム工学科	<u>39</u>		都市環境システム学科	50	
	電気電子工学科	<u>74</u>		デザイン学科	65	
	ナノサイエンス学科	<u>34</u>		機械工学科	75	
	共生応用化学科	<u>94</u>		メディカルシステム工学科	40	
	画像科学科	<u>44</u>		電気電子工学科	75	
	情報画像学科	<u>79</u>		ナノサイエンス学科	35	
園芸学部	園芸学科	<u>64</u>		共生応用化学科	95	
	応用生命化学科	<u>31</u>		画像科学科	45	
	緑地環境学科	<u>66</u>		情報画像学科	80	
	食料資源経済学科	<u>29</u>	園芸学部	園芸学科	68	
			園芸学部	応用生命化学科	32	
			園芸学部	緑地環境学科	70	
			園芸学部	食料資源経済学科	30	

※前年度から入学定員に増減がない学科等の記載は省略しています。

2. 入学者選抜日程の概要

試験	日程	受験案内発表	出願期間	実施期日
大学入試センター試験		9月から同試験利用大学で配布	10月上旬頃に同センターへ出願	1月16日(土)～17日(日) 同試験利用大学で実施

(1) 一般入試

選抜		日程	要項発表	出願期間	選抜期日	合格発表	入学手続
一般入試 (前期日程)	国際教養学部 ※設置予定	10月下旬	10月下旬	1月25日(月) ～2月3日(水)	【通常型入試】 2月25日(木) 【特色型入試】 2月26日(金)	第1段階選抜 実施発表 2月9日(火) 合格発表 3月8日(火)	3月14日(月) ～15日(火)
	文学部				2月25日(木)		
	教育学部				2月25日(木) ～26日(金)		
	法政経学部				2月25日(木)		
	理学部				2月25日(木) ～26日(金)		
	医学部				2月25日(木)		
	薬学部				2月25日(木) ～26日(金)		
	看護学部				2月25日(木)		
	工学部				2月25日(木)		
	園芸学部				2月25日(木)		
一般入試 (後期日程)	文学部	10月下旬	10月下旬	1月25日(月) ～2月3日(水)	3月12日(土)	第1段階選抜 実施発表 2月19日(金) 合格発表 3月20日(日)	3月26日(土) ～27日(日)
	法政経学部				3月12日(土) ～13日(日)		
	理学部				3月12日(土)		
	医学部				3月12日(土)		
	薬学部						
	工学部						
	園芸学部						

(2) 特別入試

選抜		日程	要項発表	出願期間	選抜期日	合格発表	入学手続
AO入試	教育学部		6月中旬	8月31日(月) ～9月4日(金)	9月26日(土)	合格内定者：10月16日(金) 最終合格者：2月9日(火)	2月17日(水)
推薦入試	文学部		7月中旬	11月2日(月) ～5日(木)	11月14日(土) ～15日(日)	12月11日(金)	2月17日(水)
	教育学部	センター試験を課さない	7月中旬	11月2日(月) ～5日(木)	11月21日(土)	12月18日(金)	2月17日(水)
		センター試験を課す				合格内定者：12月18日(金) 最終合格者：2月9日(火)	
	理学部		7月下旬	11月2日(月) ～5日(木)	11月14日(土)	12月4日(金)	2月17日(水)
	薬学部		7月中旬	11月4日(水) ～6日(金)	11月14日(土) ～15日(日)	2月9日(火)	2月17日(水)
	看護学部		6月上旬	11月2日(月) ～5日(木)	11月14日(土)	11月27日(金)	2月5日(金)
	園芸学部		7月中旬	11月2日(月) ～5日(木)	11月15日(日)	12月4日(金)	2月17日(水)

選抜			日程	要項発表	出願期間	選抜期日	合格発表	入学手続
理数大好き学生選抜	工学部	方式Ⅰ	7月中旬	7月中旬	10月29日(木) ～11月4日(水)	11月6日(金) ～9日(月)	第1次選抜合格者 11月10日(火) 第2次選抜合格者 12月4日(金) 最終合格者 2月10日(水)	2月17日(水)
		方式Ⅱ				11月21日(土)		
経済学特進プログラム選抜		法政経学部	7月下旬	7月下旬	1月22日(金) ～25日(月)	2月7日(日)	2月9日(火)	2月17日(水)
帰国子女入試	薬学部	4月入学		7月中旬	11月4日(水) ～6日(金)	11月14日(土) ～15日(日)	12月4日(金)	3月14日(月) ～15日(火)
		薬科学科	9月入学 (秋入学)	平成28年 3月下旬	平成28年 6月6日(月) ～16日(木)	平成28年 7月2日(土)	平成28年 7月29日(金)	平成28年 8月5日(金)
社会人入試	文学部		7月中旬	7月中旬	10月6日(火) ～8日(木)	11月14日(土)	12月11日(金)	3月14日(月) ～15日(火)
	看護学部		6月上旬	6月上旬	8月3日(月) ～6日(木)	9月9日(水)	10月2日(金)	3月14日(月) ～15日(火)
	園芸学部		7月中旬	7月中旬	11月2日(月) ～5日(木)	11月15日(日)	12月4日(金)	2月17日(水)
先進科学プログラム (飛び入学)学生選抜		方式Ⅰ	7月下旬	7月下旬	11月19日(木) ～26日(木)	12月19日(土) ～20日(日)	第1次判定合格者 12月20日(日) 最終合格者 1月15日(金)	2月17日(水)
		方式Ⅱ			1月25日(月) ～2月3日(水)	2月25日(木) 3月13日(日)	第1次判定合格者 3月8日(火) 最終合格者 3月20日(日)	3月26日(土) ～27日(日)
		方式Ⅲ			平成28年 6月9日(木) ～16日(木)	平成28年 7月17日(日) ～18日(月・祝)	第1次判定合格者 平成28年7月18日(月・祝) 最終合格者 平成28年8月4日(木)	平成28年 8月中旬
私費外国人留学生入試	文学部		7月中旬	7月中旬	11月2日(月) ～5日(木)	12月12日(土)	1月13日(水)	2月17日(水)
	教育学部		11月	11月	1月25日(月) ～27日(水)	2月25日(木) ～26日(金)	3月8日(火)	3月14日(月) ～15日(火)
	法政経学部		7月下旬	7月下旬	11月4日(水) ～5日(木)	11月28日(土)	12月16日(水)	2月17日(水)
	理学部		7月下旬	7月下旬	11月2日(月) ～5日(木)	11月14日(土)	12月4日(金)	2月17日(水)
	医学部		11月	11月	1月25日(月) ～27日(水)	2月25日(木) ～26日(金)	3月8日(火)	3月14日(月) ～15日(火)
	薬学部		11月	11月	1月25日(月) ～27日(水)	2月25日(木) ～26日(金)	3月8日(火)	3月14日(月) ～15日(火)
	看護学部		11月上旬	11月上旬	1月19日(火) ～20日(水)	2月16日(火)	3月8日(火)	3月14日(月) ～15日(火)
	工学部		7月中旬	7月中旬	10月29日(木) ～11月4日(水)	11月21日(土)	12月4日(金)	2月17日(水)
	園芸学部		7月中旬	7月中旬	11月2日(月) ～5日(木)	11月14日(土)	12月4日(金)	2月17日(水)

3. 募集人員

学部	学科・課程	入学定員	募集人員							
			一般入試		特別入試					社会人入試
			前期日程	後期日程	AO入試	推薦入試	理数大好き学生選抜	経済学特進プログラム選抜	帰国子女入試(4月入学・9月入学)	
国際教養学部 ※設置予定	国際教養学科	90	90	-	-	-	-	-	-	-
文学部 ※改組予定	行動科学科	73	49	15	-	9	-	-	-	-
	史学科	31	23	3	-	5	-	-	-	若干名
	日本文化学科	31	28	3	-	-	-	-	-	-
	国際言語文化学科	35	25	-	-	10	-	-	-	-
	計	170	125	21	-	24	-	-	-	-
教育学部	小学校教員養成課程	245	195	-	50	-	-	-	-	-
	中学校教員養成課程	85	65	-	-	20	-	-	-	-
	特別支援教育教員養成課程	20	15	-	-	5	-	-	-	-
	幼稚園教員養成課程	20	15	-	-	5	-	-	-	-
	養護教諭養成課程	35	25	-	-	10	-	-	-	-
	計	405	315	-	50	40	-	-	-	-
法政経学部	法政経学科	370	295	75	-	-	-	若干名	-	-
理学部	数学・情報数理学科	44	29	15	-	-	-	-	-	-
	物理学科	39	23	12	-	4	-	-	-	-
	化学科	39	31	8	-	-	-	-	-	-
	生物学科	39	29	10	-	-	-	-	-	-
	地球科学科	39	30	5	-	4	-	-	-	-
	計	200	142	50	-	8	-	-	-	-
医学部	医学科	117	97	20	-	-	-	-	-	-
薬学部	薬学科	(40)	80	60	10	-	10	-	-	若干名※
	薬科学科	(40)								
看護学部	看護学科	80	49	-	-	24	-	-	-	7
工学部	建築学科	69	50	19	-	-	-	-	-	-
	都市環境システム学科	49	35	14	-	-	-	-	-	-
	デザイン学科	64	45	19	-	-	-	-	-	-
	機械工学科	74	55	19	-	-	-	-	-	-
	メディカルシステム工学科	39	30	9	-	-	-	-	-	-
	電気電子工学科	74	55	19	-	-	-	-	-	-
	ナノサイエンス学科	34	25	9	-	-	若干名	-	-	-
	共生応用化学科	94	70	24	-	-	-	-	-	-
	画像科学科	44	35	9	-	-	-	-	-	-
	情報画像学科	79	60	19	-	-	-	-	-	-
計	620	460	160	-	-	-	-	-	-	
園芸学部	園芸学科	64	40	20	-	4	-	-	-	若干名
	応用生命化学科	31	20	10	-	1	-	-	-	-
	緑地環境学科	66	40	20	-	6	-	-	-	若干名
	食料資源経済学科	29	16	10	-	3	-	-	-	-
	計	190	116	60	-	14	-	-	-	-
合計		2,322	1,749	396	50	120				7

※薬学部で実施する9月入学(秋入学)は薬科学科のみ募集します。

上記の他に、下記の先進科学プログラム(飛び入学)学生選抜の募集があります。

方式	募集分野 / 学部・学科		募集人員
I	物理学関連分野	理学部：物理学科	若干名
	工学関連分野	工学部：建築学科，都市環境システム学科，デザイン学科，機械工学科，メディカルシステム工学科，電気電子工学科，ナノサイエンス学科，画像科学科，情報画像学科	
II	物理学関連分野	理学部：物理学科	若干名
	物理化学・生命化学関連分野	理学部：化学科	
	工学関連分野	工学部：電気電子工学科，ナノサイエンス学科，画像科学科，情報画像学科	
	人間科学関連分野	文学部：行動科学科	
III	物理学関連分野	理学部：物理学科	若干名
	工学関連分野	工学部：デザイン学科，電気電子工学科，ナノサイエンス学科	

募集人員欄に記載する一般入試、特別入試の募集人員は、国際教養学部を設置、文学部の学部改組等の計画が文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果を受けて予定している計画が修正なく確定して、全学的な入学定員の移行を行った場合の人数で記載しています。文部科学省での審査結果によっては変更があります。

【備考】

1. 入学定員のうち、以下の選抜の募集人員（若干名）は前期日程の募集人員に含まれます。

選抜・入試	学部・学科
理数大好き学生選抜	工学部：ナノサイエンス学科
経済学特進プログラム選抜	法政経学部
帰国子女入試	薬学部
社会人入試	文学部：史学科
	園芸学部：園芸学科，緑地環境学科

2. 以下の選抜の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、前期日程の合格者で補充します。

入試	学部・学科・課程
AO入試	教育学部：小学校教員養成課程
推薦入試	実施する学部・学科が対象（理学部物理学科を除く）

3. 以下の選抜の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、後期日程の合格者で補充します。

入試	学部・学科
推薦入試	理学部：物理学科

4. 国際教養学部

千葉大学では、平成28年4月に国際教養学部を設置を予定しています。学部・学科の名称，教育内容，募集人員，募集開始時期，入学者選抜方法等については、あくまで予定であり，変更があります。（国際教養学部の教育内容等の詳細については、2～3ページを参照してください。）

最終的な内容については、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知後に公表します。
 なお、国際教養学部では、次のとおり募集を行います。

学科	一般入試（前期日程）募集人員	
国際教養学科	計 90 名	通常型入試 80 名
		特色型入試 10 名

- ※ 通常型入試と特色型入試の2種類の入学試験を実施し、それぞれの入試ごとに選抜を行います。
- ※ 通常型入試と特色型入試の同時出願はできません。（出願時に選択することになります）

5. 文学部

文学部では、平成28年度入学者選抜（平成28年4月入学）に現行の4学科から1学科4コースに再編する学部改組を予定しています。この計画は文部科学省に認可申請中であり，その審査結果を受けて確定するものです。（改組の詳細並びに改組が確定した場合の1学科4コースでの募集人員については、4～5ページを参照してください。）

6. 教育学部

(1) 小学校教員養成課程における一般入試の募集人員(計 195 名), 選抜方法及び選修決定方法は次のとおりです。

選修	募集人員	選抜方法及び選修決定方法
国語科選修	25 名	左記の 9 選修の全出願者を 1 つの選抜区分として選抜を行います。 9 選修のうち、いずれかの選修に所属することを希望する場合、個別 学力検査の出題教科は、「国語または数学」および「外国語」となり ます。出願時に受験する教科として「国語または数学」のどちらかを 選択してください。 なお、所属する選修は、合格発表後に左記の選修の中から第 1 希望 から第 9 希望までの申請により、学力検査の成績と希望選修を勘案し て決定します。(希望する選修の申請手続きについては、合格発表後 に合格者にお知らせします。)
社会科選修	26 名	
算数科選修	20 名	
理科選修	20 名	
家庭科選修	9 名	
教育学選修	26 名	
教育心理学選修	21 名	
ものづくり・技術選修	8 名	
小学校英語選修	9 名	
音楽科選修	9 名	左記の 3 選修の全出願者を 1 つの選抜区分として選抜を行います。 これら 3 選修のうち、いずれかの選修に所属することを希望する場合、 個別学力検査の出題教科・科目は、「実技」および「外国語」となりま す。出願時に受験する「実技」として、音楽科選修を希望する場合は 音楽、図画工作科選修を希望する場合は図工、体育科選修を希望する 場合は体育を選択してください。 所属する選修は、受験する「実技」の内容に対応した選修に決定し ます。
図画工作科選修	9 名	
体育科選修	13 名	

※ 他に A O 入試(募集人員 50 名)があります。詳細は 33 ページを参照してください。

※ 各選修の募集人員はおおよその人数であり、志願状況等により増減があり得ます。

(2) 中学校教員養成課程における一般入試の募集人員は次のとおりです。(分野ごとに募集します。)

前期日程 募集人員	国語科 教育分野	社会科 教育分野	数学科 教育分野	理 科 教育分野	音楽科 教育分野	美術科 教育分野	保健体育科 教育分野	技術科 教育分野	家庭科 教育分野	英語科 教育分野
計 65 名	7 名	7 名	8 名	8 名	5 名	5 名	8 名	5 名	5 名	7 名

※ 他に推薦入試(募集人員 20 名)があります。詳細は 35 ページを参照してください。

※ 各分野の募集人員はおおよその人数であり、志願状況等により増減があり得ます。

【教育学部における一部課程等の学生募集停止】

教育学部では、平成 28 年度入学者選抜(平成 28 年 4 月入学)から一部課程・分野の学生募集を停止することを予定しています。そのため、学生募集を停止する課程・分野においては入学者選抜を行いませんのでご注意ください。(募集停止を行う一部課程・分野の詳細については、6 ページを参照してください。)

7. 法政経学部

法政経学部(法政経学科)では、2 年次進級時に各コース(法学コース、経済学コース、経営・会計系コース、政治学・政策学コース)を希望により選択することができます。

※ 他に法政経学部法政経学科経済学特進プログラム選抜(若干名)があります。

8. 薬学部

薬学部では、入学者選抜は薬学科(6 年制: 40 名)、薬科学科(4 年制: 40 名)の 2 学科を一括して実施します。また、学科への所属は、3 年次進級時に、本人の志望・学業成績により決定します。

なお、薬剤師国家試験の受験資格は原則として薬学科(6 年制)の卒業生に与えられます。

※ 9 月入学(秋入学)の帰国子女入試については、薬科学科(4 年制)のみの募集となります。

4. 入学者選抜方法等

(1) 一般入試

ア 前期日程

選抜方法等			個別学力検査等						個別学力検査等の日程	備考 〔欠員の補充の方法等〕		
			個別学力検査を課す	実技検査等			2段階選抜					
学部・学科・課程・選修・分野				面接を課す	小論文を課す	外国語を課す	大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、合格者に対して必要となる検査等を行う	第1段階選抜による合格者の数	募集人員に対する倍率	その他		
国際教養学部 ※設置予定	国際教養学科	通常型入試	○	×	×	×	×	×	実施しない	2月25日	〔追加合格〕	
		特色型入試	×	×	○	○	×	○	4倍		2月26日	〔追加合格〕
文学部 ※改組予定	行動科学科, 史学科, 日本文化学科, 国際言語文化学科		○	×	×	×	×	×	実施しない	2月25日	〔追加合格〕	
教育学部	小学校教員養成課程	国語科, 社会科, 算数科, 理科, 家庭科, 教育学, 教育心理学, ものづくり・技術, 小学校英語の各選修	○	×	×	×	×					
		音楽科, 図画工作科, 体育科の各選修	○	○	×	×	×					
	中学校教員養成課程	国語科教育, 数学科教育, 理科教育, 技術科教育, 英語科教育の各分野	○	×	×	×	×	×		実施しない	2月25日	〔追加合格〕
		音楽科教育, 保健体育科教育の各分野	○	○	×	×	×					
		美術科教育分野	○	○	○	×	×					
		社会科教育, 家庭科教育の各分野	○	×	×	○	×					
	特別支援教育教員養成課程, 幼稚園教員養成課程	○	×	×	×	×						
	養護教諭養成課程	○	×	×	×	×						
法政経学部	法政経学科		○	×	×	×	×	○	4倍	2月25日	〔追加合格〕	
理学部	数学・情報数理学科, 物理学科, 化学科, 生物学科, 地球科学科		○	×	×	×	×	×	実施しない	2月25日	〔追加合格〕	
医学部	医学科		○	×	○	×	×	○	3倍	2月25日～26日	〔追加合格〕	
薬学部			○	×	×	×	×	×	実施しない	2月25日	〔追加合格〕	
看護学部	看護学科		○	×	○	×	×	×	実施しない	2月25日～26日	〔追加合格〕	
工学部	建築学科, 都市環境システム学科, デザイン学科, 機械工学科, メディカルシステム工学科, 電気電子工学科, ナノサイエンス学科, 共生応用化学科, 画像科学科, 情報画像学科		○	×	×	×	×	×	実施しない	2月25日	〔追加合格〕	
園芸学部	園芸学科, 応用生命化学科, 緑地環境学科, 食料資源経済学科		○	×	×	×	×	×	実施しない	2月25日	〔追加合格〕	

イ 後期日程

文学部 ※改組予定	行動科学科, 日本文化学科	×	×	×	○	×	×	×	実施しない	3月12日	〔追加合格〕
	史学科	×	×	○	○	×					
法政経学部	法政経学科	○	×	×	×	×	○	15倍		3月12日	〔追加合格〕
理学部	数学・情報数理学科, 物理学科, 化学科, 生物学科, 地球科学科	○	×	×	×	×	×	×	実施しない	3月12日	〔追加合格〕
医学部	医学科	○	×	○	○	×	○	7倍		3月12日～13日	〔追加合格〕
薬学部		○	×	×	×	×	×	×	実施しない	3月12日	〔追加合格〕
工学部	建築学科, 都市環境システム学科, デザイン学科, 機械工学科, メディカルシステム工学科, 電気電子工学科, 共生応用化学科, 画像科学科, 情報画像学科	○	×	×	×	×	×	×	実施しない	3月12日	〔追加合格〕
	ナノサイエンス学科	×	×	○	×	×					
園芸学部	園芸学科, 応用生命化学科	○	×	×	×	×	×	×	実施しない	3月12日	〔追加合格〕
	緑地環境学科, 食料資源経済学科	×	×	×	○	×					

(注) 1 ○は該当するものを表し, ×は該当しないものを表します。

2 第1段階選抜に際しては, 上記の予告倍率を変更(緩和)する場合があります。

3 「個別学力検査を課す」欄には, 専門適性検査等を含みます。

(2) 特別入試

選抜方法・募集人員等 学部・学科・課程・ 選修・分野		A	推 薦 入 試							募 集 人 員	理 数 大 好 き 学 生 選 抜	経 済 学 特 進 プ ロ グ ラ ム 選 抜	帰 国 子 女 入 試	社 会 人 入 試	備 考	
			入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する													
			個別学力検査を免除し、大試センター試験を課す	個別学力検査及び大試センター試験を免除する	実技検査等											その他
実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す			外国語におけるリスニングテストを課す											
文学部 ※改組予定	行動科学科	×	×	○	×	○	○	×	×	9名	×	×	×	×		
	史学科	×	×	○	×	○	○	×	×	5名	×	×	×	若干名		
	国際言語文化学科	×	×	○	×	○	○	×	×	10名	×	×	×	×		
教 育 部 小 学 校 教 員 養 成 課 程	国語科選修	6名	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	地域選抜枠30名を含む	
	社会科選修	6名	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	算数科選修	6名	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	理科選修	6名	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	音楽科選修	2名	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	図画工作科選修	2名	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	体育科選修	3名	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	家庭科選修	2名	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	教育学選修	6名	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	教育心理学選修	6名	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	ものづくり・技術選修	3名	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	小学校英語選修	2名	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	中 学 校 教 員 養 成 課 程	国語科教育分野	×	○	×	×	○	×	×	×	2名	×	×	×		×
		社会科教育分野	×	○	×	×	○	×	×	×	2名	×	×	×		×
数学科教育分野		×	○	×	×	○	×	×	×	2名	×	×	×	×		
理科教育分野		×	○	×	×	○	×	×	×	2名	×	×	×	×		
音楽科教育分野		×	○	×	×	○	×	×	○	2名	×	×	×	×		
美術科教育分野		×	○	×	×	○	×	×	○	2名	×	×	×	×		
保健体育科教育分野		×	○	×	×	○	×	×	×	2名	×	×	×	×		
技術科教育分野		×	×	○	×	○	×	×	○	2名	×	×	×	×		
家庭科教育分野		×	○	×	×	○	×	×	×	2名	×	×	×	×		
英語科教育分野		×	○	×	×	○	×	×	×	2名	×	×	×	×		
特別支援教育教員養成課程	×	○	×	×	○	×	×	×	5名	×	×	×	×			
幼稚園教員養成課程	×	○	×	×	○	×	×	×	5名	×	×	×	×			
養護教諭養成課程	×	○	×	×	○	×	×	○	10名	×	×	×	×			
法政経学部	法政経学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	若干名	×	×			
理 学 部	物理学科	×	×	○	×	○	×	×	○	4名	×	×	×	×	総合テストを行う	
	地球科学科	×	×	○	×	○	×	×	○	4名	×	×	×	×	総合テストを行う	
薬 学 部		×	○	×	×	○	×	×	○	10名	×	×	若干名 ※	×	※9月入学(秋入学)は薬科学科のみ募集	
看護学部	看護学科	×	×	○	×	○	○	×	×	24名	×	×	×	7名		
工 学 部	ナノサイエンス学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	若干名	×	×	×		
園 芸 学 部	園芸学科	×	×	○	×	○	○	×	×	4名	×	×	×	若干名		
	応用生命化学科	×	×	○	×	○	○	×	×	1名	×	×	×	×		
	緑地環境学科	×	×	○	×	○	○	×	×	6名	×	×	×	若干名		
	食料資源経済学科	×	×	○	×	○	×	×	○	3名	×	×	×	×	プレゼンテーションを行う	

(注) ○は該当するものを表し、×は該当しないものを表します。

5. 一般入試

(1) 出 願

ア 出願資格

平成 28 年 1 月実施の平成 28 年度大学入学者選抜大学入試センター試験で各学部・学科・課程・分野が指定する教科・科目を受験した者で、大学入学資格を有するもの又は平成 28 年 3 月までに有する見込みのもの

- (注) 「大学入学資格を有する(平成 28 年 3 月までに有する見込みのもの)の主な例は、次のとおりです。
なお、⑧の個別の入学資格審査を受けようとする者は、学務部入試課入試係(電話 043-290-2182)へ資格審査の申請方法等を確認の上、9 月 4 日(金)までに本学へ資格審査の申請を行ってください。
- ① 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した(見込みの)者
 - ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した(見込みの)者※
※特別支援学校の高等部又は高等専門学校の 3 年次を修了した(見込みの)者が該当します。
 - ③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した(見込みの)者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した(見込みの)者
 - ⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した(見込みの)者
 - ⑥ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した(見込みの)者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
 - ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 28 年 3 月までに 18 歳に達するもの

イ 出願の際の留意事項等

- ① 一般入試に出願する場合、国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)のうち、前期日程試験を実施する大学・学部から 1 つ、後期日程試験を実施する大学・学部から 1 つ出願することができます。国公立大学・学部の前期日程を複数出願する、後期日程を複数出願するということはありません。
※ 独自日程で入学者選抜試験を行っている公立大学・学部については、公立大学協会のホームページを参照してください。(http://www.kodaikyo.org/nyushi)
- ② 本学及び他の国公立大学で実施する推薦入試、AO入試※に合格した者は、当該大学の定める入学辞退手続により入学を辞退した場合を除いて、本学が行う一般入試を受験しても合格者とはなりません。
※ 本学においては理数大好き学生選抜、経済学特進プログラム選抜も AO入試に区分します。
- ③ 一般入試の可否及び入学手続等に関する個人情報は、大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供され、国公立大学の分離分割方式の合格者の決定を行うための情報として利用されます。
- ④ 入学者選抜の過程で収集した個人情報は入学者選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。

(2) 入学者選抜

ア 選抜方法等

(7) 選抜方法

入学者の選抜は、平成 28 年度大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の結果及び調査書の内容を総合して行います。(過年度の大学入試センター試験の成績は利用しません。)

合格者の決定は、総合得点により行います。

なお、同点者の順位決定については、文学部、医学部、薬学部及び工学部においては、本学の個別学力検査等の得点が上位の者を優先します。

また、可否判定基準を別に定めている学部があります。(㊦)可否判定基準参照)

(4) 2 段階選抜の実施

第 1 段階選抜の予告倍率を掲げる学部・学科(13 ページ参照)については、志願者数が募集人員に対する予告倍率を超えた場合には、2 段階選抜(各学部・学科が指定する大学入試センター試験の教科・科目の成績(素点)の総合得点により第 1 段階選抜を行い、その合格者についてのみ個別学力検査等を行う。)を実施す

ることがあります。

(ウ) 合否判定基準

① 教育学部

総合得点が原則として50%未満の場合、個別学力検査等の得点が零点の教科・科目等があった場合のいずれかに該当する場合には、不合格とします。

② 医学部、工学部

個別学力検査等の得点が当該学部・学科受験者の平均点に満たない教科・科目等があった場合には、不合格とすることがあります。

イ 実施教科・科目等

(7) 大学入試センター試験の指定教科・科目等

大学入試センター試験の指定教科・科目等は17～22ページの表のとおりです。各学部・学科・課程・分野が指定する教科・科目等を受験していない場合は、本学の個別学力検査等を受験できません。

(注) 1. 各学部・学科・課程・分野が指定する大学入試センター試験の教科・科目において、複数の受験パターンが認められている場合があります。その場合には複数の受験パターンのうち、いずれかの受験パターンを満たしていれば本学の個別学力検査等を受験できます。

なお、複数の受験パターンを満たしている場合には、最も高得点となるパターンで選抜を行います。

2. 大学入試センター試験の地理歴史及び公民並びに理科②において、各学部・学科・課程・分野の指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目（その教科の試験時間中の前半で解答する科目）で指定する科目を受験してください。（第1解答科目の成績を合否判定に利用します。）
なお、第1解答科目で指定する科目を受験せず、第2解答科目（試験時間中の後半で解答する科目）で指定する科目を受験している場合、失格にはなりませんその科目の成績は0点として扱いますので注意してください。

3. 大学入試センター試験の「工業数理基礎」、「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業（見込）者に限ります。

なお、「工業数理基礎」は、大学入試センター試験において旧教育課程履修者のために出題する科目であり、新教育課程履修者は受験できません。

4. 大学入試センター試験のリスニングは「英語」の一領域です。大学入試センター試験の外国語において「英語」を選択する受験者は、筆記試験とリスニングの双方を受験してください。（大学入試センター試験においてリスニングを免除された者を除く。）

5. 表中の大学入試センター試験の科目名は、次のように略してあります。

「世界史A」→ 世A 「世界史B」→ 世B 「日本史A」→ 日A 「日本史B」→ 日B
「現代社会」→ 現社 「倫理」→ 倫 「政治・経済」→ 政 『倫理、政治・経済』→ 倫政経
「数学Ⅰ」→ 数Ⅰ 『数学Ⅰ・数学A』→ 数ⅠA
「数学Ⅱ」→ 数Ⅱ 『数学Ⅱ・数学B』→ 数ⅡB
『簿記・会計』→ 簿 『情報関係基礎』→ 情
「物理基礎」→ 物基 「化学基礎」→ 化基 「生物基礎」→ 生基 「地学基礎」→ 地基
「物理」→ 物 「化学」→ 化 「生物」→ 生
『英語』→ 英 『ドイツ語』→ 独 『フランス語』→ 仏 『中国語』→ 中
『韓国語』→ 韓

※旧教育課程履修者に対する経過措置として実施する科目は次のように略してあります。

「工業数理基礎」→ 工

〔表の見方〕

大学入試センター試験の指定教科
指定する科目
指定する科目数
指定する科目
指定する科目数

大学入試センター試験の指定教科・科目																								
パターン	国語		地理歴史		公民		数学①		数学②		理科②		外国語											
①	1	世B	HB	地理B		倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓			
			2				1			1					2						1			
②	1	世B	日B	地理B		倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	工※	簿情			物	化	生	地	学	英	独	仏	中	韓
			2				1			1					1	(注)						1		

指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。
 「工業教養基礎」「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業(見込)者に限ります。
 ※「工業教養基礎」は旧教育課程履修者のみ受験可能な科目です。新教育課程履修者は受験できません。
 (注)理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)

(注) 学部・学科・課程・分野ごとに、指定する教科・科目及び指定する科目数が異なりますので注意してください。

(例) 大学入試センター試験の指定教科・科目のパターンが複数ある場合、備考欄で指定教科・科目の受験パターンを確認してください。
 パターン①で受験する場合の大学入試センター試験の指定教科、科目の見方は次のとおりです。
 国語 : 国語を受験。
 地理歴史、公民 : 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から2科目を受験。
 数学① : 数学I、数学Aから1科目を受験。
 数学② : 数学II、数学B、工業教養基礎※、簿記・会計、情報関係基礎から1科目を受験。
 理科① : 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2科目を受験。
 理科② : パターン①では、理科②の科目は指定科目となっておりません。
 外国語 : 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目を受験。
 (注) ※がついた科目は新教育課程履修者は受験できません。

〔大学入試センター試験の指定教科・科目等〕

大学入試センター試験の指定教科・科目																										
学部・学科・課程・分野	日程	パターン	国語		地理歴史		公民		数学①		数学②		理科②		外国語											
国際教養学部	前期	①	1	世B	HB	地理B		倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓			
					2				1			1						2					1			
		②	1	世B	日B	地理B		倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	工※	簿情			物	化	生	地	学	英	独	仏	中	韓
					2				1			1						1	(注)					1		
		③	1	世B	日B	地理B		倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓			
					1	(注)			1						物	化	生	地	学	英	独	仏	中	韓		
		④	1	世B	日B	地理B		倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	工※	簿情			物	化	生	地	学	英	独	仏	中	韓
					1	(注)			1						物	化	生	地	学	英	独	仏	中	韓		

指定教科・科目を受験するパターンは①②③④のいずれでも構いません。
 パターン③の理科の選択(基礎を付した科目を2科目受験し、基礎を付さない科目を1科目受験する)において、同一名称を含む科目(例:「物理基礎」と「物理」等)を選択することができません。
 (注) 地理歴史及び公民並びに理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)

※国際教養学部は平成28年4月に設置を予定しています。この計画は文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり、変更があります。(詳細については、2~3ページを参照してください。)

学部・学科・課程・分野		大学入試センター試験の指定教科・科目																											
学部	学科・課程・分野	日程	パターン	地理歴史				公民		数学①				数学②				理科①				理科②				外国語			
				国語	世B	日B	地理B	倫政経	数I	数II	数I A	数II	数II B	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓					
行動科学科		前期 後期	①	国語	世B	日B	地理B	倫政経	数I	数II	数II B	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓							
				1	2	2	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1						
		前期 後期	②	国語	世B	日B	地理B	倫政経	数I	数II	数II B	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓							
				1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1					
史学科 日本文化学科		前期 後期	①	国語	世B	日B	地理B	倫政経	数I	数II	数II B	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓							
				1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1						
		前期 後期	②	国語	世B	日B	地理B	倫政経	数I	数II	数II B	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓							
				1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1 (注)	1	1	1	1	1	1	1					
国際言語文化学科		前期	①	国語	世B	日B	地理B	倫政経	数I	数II	数II B	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓							
				1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1						
		前期	②	国語	世B	日B	地理B	倫政経	数I	数II	数II B	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓							
				1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1 (注)	1	1	1	1	1	1	1					
国際言語文化学科		前期	備考	指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 英語はリスニングの成績を利用しません。 「工業数理基礎」「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業(見込)者に限ります。 ※「工業数理基礎」は旧教育課程履修者のみ受験可能な科目です。新教育課程履修者は受験できません。 (注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																									
				指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 「工業数理基礎」「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業(見込)者に限ります。 ※「工業数理基礎」は旧教育課程履修者のみ受験可能な科目です。新教育課程履修者は受験できません。 (注)理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																									
		前期	備考	指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 「工業数理基礎」「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業(見込)者に限ります。 ※「工業数理基礎」は旧教育課程履修者のみ受験可能な科目です。新教育課程履修者は受験できません。 (注)理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																									
				指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 「工業数理基礎」「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業(見込)者に限ります。 ※「工業数理基礎」は旧教育課程履修者のみ受験可能な科目です。新教育課程履修者は受験できません。 (注)理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																									

※文学部は平成28年4月に学部改組を予定しています。この計画は文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり、変更がありえます。(詳細については、4～5ページを参照してください。)

学部・学科・課程・分野		大学入試センター試験の指定教科・科目												外国語													
学部・学科・課程・分野	日程	地理歴史		公民		数学①		数学②				理科①			理科②			外国語									
		国語	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓					
小学校教員養成課程 中学校教員養成課程 国語科教育, 音楽科教育, 保健体育科教育, 家庭科教育 の各分野 特別支援教育教員養成課程 幼稚園教員養成課程	前期	①	1	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	2	1	2	1	英	独	仏	中	韓
		②	1	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	物	化	生	地学	英	独	仏	中	韓
		③	1	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	物	化	生	地学	英	独	仏	中	韓
		④	1	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	物	化	生	地学	英	独	仏	中	韓
備考		指定教科・科目を受験するパターンは①②③④のいずれでも構いません。 パターン③の理科の選択(基礎を付した科目を2科目受験し、基礎を付さない科目を1科目受験する)において、同一名称を含む科目(例:「物理基礎」と「物理」等)を選択することができません。 「工業数理基礎」、「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業(見込)者に限りません。 ※「工業数理基礎」は旧教育課程履修者のみ受験可能な科目です。新教育課程履修者は受験できません。 (注)地理歴史及び公民並びに理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																									
教育学部 中学校教員養成課程 社会科教育, 美術科教育, 英語科教育 の各分野	前期	①	1	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	2	1	2	1	英	独	仏	中	韓
		②	1	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	物	化	生	地学	英	独	仏	中	韓
		備考	指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 「工業数理基礎」、「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業(見込)者に限りません。 ※「工業数理基礎」は旧教育課程履修者のみ受験可能な科目です。新教育課程履修者は受験できません。 (注)理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																								
		①	1	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	物	化	生	地学	英	独	仏	中	韓
中学校教員養成課程 数学科教育, 理科教育, 技術科教育 の各分野 養護教諭養成課程	前期	①	1	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	物	化	生	地学	英	独	仏	中	韓
		②	1	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	物	化	生	地学	英	独	仏	中	韓
		備考	指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 パターン①の理科の選択(基礎を付した科目を2科目受験し、基礎を付さない科目を1科目受験する)において、同一名称を含む科目(例:「物理基礎」と「物理」等)を選択することができません。 「工業数理基礎」、「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業(見込)者に限りません。 ※「工業数理基礎」は旧教育課程履修者のみ受験可能な科目です。新教育課程履修者は受験できません。 (注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																								
		①	1	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	工※	簿情	物基	化基	生基	地基	物	化	生	地学	英	独	仏	中	韓

大学入試センター試験の指定教科・科目

学部・学科・課程・分野	日程	パターン	大学入試センター試験の指定教科・科目														
			国語		地理歴史		公民		数学①		数学②		理科①		理科②		外国語
薬学部	前期	①	国語	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数IA	数IIB			物化生	英独仏中韓	1	2	1
		備考	(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)														
	後期	①	国語	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数IA	数IIB			物化生	英独仏中韓	1	(1)	1
		備考	理科の指定科目は、化学(必修)と物理、生物のいずれか(選択)の2科目です。 (注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)														
看護学部	前期	①	国語	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数IA	数IIB			物化生	英独仏中韓	1	2	1
		備考	(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)														
工学部	前期 後期	①	国語	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数IA	数IIB			物化	英独仏中韓	1	2	1
		備考	(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)														
	前期 後期	①	国語	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数IA	数IIB			物化生	英独仏中韓	1	2	1
		備考	(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)														
前期 後期	前期 後期	①	国語	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数IA	数IIB			物化生	英独仏中韓	1	2	1
		備考	(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)														
前期 後期	前期 後期	①	国語	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数IA	数IIB			物化生	英独仏中韓	1	1	1
		備考	(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)														

学部・学科・課程・分野		日程	パターン	大学入試センター試験の指定教科・科目																						
				地理歴史			公民			数学①		数学②		理科①				理科②				外国語				
				国語	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	現社	倫政	倫政経	数I A	数II B	物化	生	地学	英	独	仏	中	韓			
園芸学科 応用生命化学科 緑地環境学科	前期 後期	①	備考	1	1 (注)									1										1		
				(注) 地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																						
				国語	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	現社	倫政	倫政経	数I A	数II B	物基	化基	生基	地基							1
園芸学部 食料資源経済学科	前期 後期	②	備考	1	2									1										1		
				(注) 地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																						
				国語	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	現社	倫政	倫政経	数I A	数II B	物化	生	地学	英	独	仏	中	韓			

(イ) 個別学力検査等の出題教科・科目等

個別学力検査等の出題教科・科目等は 24～27 ページのとおりです。出願する学部・学科・課程・分野の出題教科・科目をすべて受験してください。1 科目でも受験していない場合には欠席者となり、合格者となりません。

ただし、国際教養学部志願者のうち、通常型入試での受験希望者については、特定の外国語検定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得していれば、個別学力検査の「外国語」の点数に換算することができます。点数換算のうち、「外国語」の点数を満点として換算することが認められた場合には、個別学力検査の「外国語」は受験しなくても欠席者とはなりません（「外国語」の受験を免除します。「外国語」以外の科目は受験する必要があります。）

注 1. 個別学力検査等で出題する科目は、すべての項目を出題範囲とします。ただし、次の科目においては、出題範囲を指定します。

科目名	出題範囲
数学B	『数列』及び『ベクトル』を出題範囲とする。

2. 次ページ表中の個別学力検査等の教科・科目名は、次のように略してあります。

教科名	科目名
国語→国	「国語総合」→国総 「国語表現」→国表 「現代文A」→現文A 「現代文B」→現文B
地理歴史→地歴	「世界史B」→世B 「日本史B」→日B
数学→数	「数学Ⅰ」→数Ⅰ 「数学Ⅱ」→数Ⅱ 「数学Ⅲ」→数Ⅲ 「数学A」→数A 「数学B」→数B
理科→理	「物理基礎」→物基 「化学基礎」→化基 「生物基礎」→生基 「地学基礎」→地基 「物理」→物 「化学」→化 「生物」→生
外国語→外	「コミュニケーション英語Ⅰ」→コミュ英Ⅰ 「コミュニケーション英語Ⅱ」→コミュ英Ⅱ 「コミュニケーション英語Ⅲ」→コミュ英Ⅲ

日程	学部	学科・課程・選修・分野	個別学力検査等(前期日程) の出題教科・科目等	出題範囲等	
前期	国際教養学部	※国際教養学部志望者は通常型入試と特色型入試のどちらかで受験するか選択すること。			
		国際教養学科	【通常型入試】	国(国総・国表・現文A・現文B・ 古典A・古典B) 又は 理(物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から1)	国語又は理科のどちらかの教科を選択すること。(理科を選択する場合, 受験する科目も選択すること。)
				数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B) 又は 地歴(世B, 日Bから1)	数学又は地理歴史のどちらかの教科を選択すること。(地理歴史を選択する場合, 受験する科目も選択すること。) 数Bの出題範囲については, 23ページを参照のこと。
				外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	本学部が定める外国語検定試験で一定の成績を修めた場合, 成績に応じて本科目を満点とし受験を免除するか, 所定の点数を加算する。詳細については, 29ページを参照のこと。
		【特色型入試】	小論文	読解力, 考察力, 表現力などを総合的に評価する。	
			面接(英語)	英語によるコミュニケーション能力, 思考力を評価する。	
			行動科学科	国(国総・国表・現文A・現文B・ 古典A・古典B) 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	数Bの出題範囲については, 23ページを参照のこと。
		史学科 日本文化学科 国際言語文化学科		国(国総・国表・現文A・現文B・ 古典A・古典B)	
				地歴(世B, 日Bから1)	
				外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
	教員養成課程	小学校教員	国語科選修 社会科選修 算数科選修 理科選修 家庭科選修 教育学選修 教育心理学選修 ものづくり・技術選修 小学校英語選修	国(現文A・現文B・古典A・古典B) 又は 数(数Ⅰ・数A)	国語又は数学のどちらかの教科を選択すること。 国語については, 現代文, 古典を素材とする基礎的な理解, 表現, 知識にかかわる問題を課す。 【選修の決定方法】 所属する選修は, 左記の9選修の中から合格発表後に第1希望から第9希望まで申請してもらい, 学力検査の成績と希望選修を勘案して決定する。
			音楽科選修 図画工作科選修 体育科選修	実技(音楽, 図工, 体育に関する 実技から1)	音楽: 詳細については28ページを参照のこと。 図工: 「身近な静物のスケッチ」を実施する。基礎能力としての観察力, 表現力等を総合的に評価する。 用具として鉛筆(2H~6B程度), 消しゴム, 練りゴム等を持参すること。 体育: 基礎的運動技能に関する体育実技を実施する。 【選修の決定方法】 所属する選修は, 受験する実技科目の内容に対応した選修に決定する。(例: 音楽に関する実技を受験して合格した場合には, 音楽科選修に所属)
		中学校教員養成課程	国語科教育分野	国(現文A・現文B・古典A・古典B)	現代文, 古典を素材とする理解, 表現, 知識にかかわる問題を課す。
				外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
	社会科教育分野		小論文	社会事象に関して, 自己の論点を組み立てて, 記述する。	
	数学科教育分野	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B)	数Bの出題範囲については, 23ページを参照のこと。		
		外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)			

※ 平成28年4月に国際教養学部の設置及び文学部の学部改組を予定しています。この計画は文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり, 変更がありえます。(改組の詳細については, 2~5ページを参照してください。)

日程	学部	学科・課程・選修・分野	個別学力検査等（前期日程） の出題教科・科目等	出題範囲等
前期	教育学部	理科教育分野	理（物基・物，化基・化， 生基・生，地基・地学から2）	
			外（コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ）	
		音楽科教育分野	楽典（聴音を含む）・実技	詳細については，28ページを参照のこと。
			外（コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ）	
		美術科教育分野	実技	木炭紙大の用紙にデッサンを実施する。 表現力、構想力、造形力、物のとらえ方等を総合的に評価する。 用具として木炭または鉛筆（2H～6B程度）、消しゴム、練りゴム等を持参すること。
			面接	造形教育活動への関心と意欲に関わる事項について論理的思考力等を総合的に評価する。
			外（コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ）	
		保健体育科教育分野	実技	基礎的及び専門的運動技能に関する体育実技を実施する。
			外（コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ）	
		技術科教育分野	数（数Ⅰ・数A）	
			専門適性検査	中学校技術・家庭科の技術分野に関連する課題について，技術的な課題解決能力や表現能力，あるいは製作を通して論理性や創造力を評価する。
			外（コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ）	
		家庭科教育分野	小論文	社会と関わる生活事象に関する理解力，論理的思考力，考察力，記述力等を総合的に評価する。
	外（コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ）			
	英語科教育分野	外（コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ）		
		ライティング（英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）	指定されたトピックについての英作文を課す。 英語の文章構成能力，文法力，語彙力等を総合的に評価する。	
	特別支援教育教員養成課程 幼稚園教員養成課程	国（現文A・現文B・古典A・古典B） 又は 数（数Ⅰ・数A）	国語又は数学のどちらかの教科を選択すること。 国語については，現代文、古典を素材とする基礎的な理解、表現、知識にかかわる問題を課す。	
		外（コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ）		
	養護教諭養成課程	保健体育（保健）	保健の知識をもとに養護教諭としての素養を総合的に評価する。	
		外（コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ）		
	法政経学部	法政経学科	国（国総・国表・現文A・現文B・ 古典A・古典B）	
			数（数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B）	数Bの出題範囲については，23ページを参照のこと。
			外（コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ）	
理学部	数学・情報数理学科	数（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B）	数Bの出題範囲については，23ページを参照のこと。	
		外（コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ）		
	物理学科	数（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B）	数Bの出題範囲については，23ページを参照のこと。	
		理（物基・物）		
		外（コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ）		
	化学科	化学科	数（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B）	数Bの出題範囲については，23ページを参照のこと。
理（化基・化）				
外（コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ）				

(前期日程)

日程	学部	学科・課程・選修・分野	個別学力検査等(前期日程) の出題教科・科目等	出題範囲等
前期	理学部	生物学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数Bの出題範囲については、23ページを参照のこと。
			理(生基・生)	
			外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
	理学部	地球科学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数Bの出題範囲については、23ページを参照のこと。
			理(物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から1)	
			外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
	医学部	医学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数Bの出題範囲については、23ページを参照のこと。
			理(物基・物, 化基・化, 生基・生から2)	
			外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
			面接	
	薬学部		数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数Bの出題範囲については、23ページを参照のこと。
			理(化基・化)	
			外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
	看護学部	看護学科	理(物基・物, 化基・化, 生基・生から1)	
			外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
			面接	
	工学部	建築学科 都市環境システム学科 機械工学科 電気電子工学科 ナノサイエンス学科 共生応用化学科 画像科学科 情報画像学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数Bの出題範囲については、23ページを参照のこと。
			理(物基・物, 化基・化)	
			外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
		工学部	デザイン学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)
理(物基・物, 化基・化, 生基・生から1)				
外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)				
専門適性検査				理解力, 思考力, 造形力, 表現力等の基礎的な資質を総合的に評価する。
工学部		メディカルシステム工学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数Bの出題範囲については、23ページを参照のこと。
			理(物基・物) (化基・化, 生基・生から1)	
			外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
園芸学部	園芸学科 応用生命化学科 緑地環境学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B)	数Bの出題範囲については、23ページを参照のこと。	
		理(物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から1)		
		外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)		
	園芸学部	食料資源経済学科		数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B)
外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)				

(後期日程)

日程	学部	学 科	個別学力検査等 (後期日程) の出題教科・科目等	出 題 範 囲 等
後 期	文 学 部	行動科学科	小論文	英文読解力, 考察力, 論理的思考力等を総合的に評価する。
		史学科	小論文	世界と日本の歴史, 及び歴史学に関する認識, 問題意識の理解等を総合的に評価する。
			面接	
		日本文化学科	小論文	日本およびユーラシアの文化に関する問題意識と知識, 想像力と論理的な文章を組み立てる力等を総合的に評価する。
	法政経学部	法政経学科	総合テスト	社会科学に関する英語の文章を出題し, その大意を理解するとともに, それを日本語で論理的に説明する能力を評価する。
	理 学 部	数学・情報数理学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	数学に関する論述試験。数Bの出題範囲については, 23ページを参照のこと。
		物理学科	総合テスト	物理(物基・物)に関する事柄を中心に, それに関連した数学(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)を含めて出題し, 思考力, 理解力, 表現力, 論理性等を総合的に評価する。数Bの出題範囲については, 23ページを参照のこと。
		化学科	理(化基・化)	化学に関する論述試験。
		生物学科	総合テスト	生物(生基・生)に関する事柄を中心に設問を与え, 思考力, 理解力, 表現力, 論理性を総合的に評価する。
		地球科学科	理(地基・地学)	地学に関する論述試験。
	医 学 部	医学科	小論文	英語又は日本語で書かれた文章について理解力, 考察力, 論理的表現力などを総合的に評価する。
			総合テスト	理科(物理, 化学, 生物の全般的内容), 数学, 英語に関する事柄について設問を与えて, 思考力, 理解力, 創造力, 表現力等を評価する。
			面接	
	薬学部		総合テスト	化学の全般的内容, 英語に関する事柄について設問を与えて, 思考力, 理解力, 創造力, 表現力等を評価する。
	工 学 部	建築学科	総合テスト	思考力, 理解力, 表現力, 創造力等を総合的に評価する。
		都市環境システム学科	総合テスト	思考力, 理解力, 表現力, 創造力等を総合的に評価する。
		デザイン学科	専門適性検査	理解力, 思考力, 造形力, 表現力等の基礎的な資質を総合的に評価する。
		機械工学科 メディカルシステム工学科 電気電子工学科 情報画像学科	総合テスト	理科(物理の全般的内容), 数学に関する事柄を中心に設問を与えて, 思考力, 理解力, 創造力, 表現力, 論理性等を総合的に評価する。
		ナノサイエンス学科	面接	数学, 理科(物理, 化学)の知識に関する質問を交え, 思考力, 理解力, 表現力, 論理力を総合的に評価する。また, 熱意と将来への展望, これまでの諸活動についても評価する。
		共生応用化学科	総合テスト	理科(化学の全般的内容)の基礎知識に関する思考力と理解力を総合的に評価する。
		画像科学科	総合テスト	理科(物理, 化学の全般的内容), 数学に関する事柄を中心に設問を与えて, 思考力, 理解力, 創造力, 表現力, 論理性等を総合的に評価する。
	園 芸 学 部	園芸学科	総合テスト	生物(生基・生)に関する事項を中心に日本語又は英語で書かれた設問を与え, 思考力, 理解力, 創造力, 表現力, 論理性等を総合的に評価する。
		応用生命化学科	総合テスト	理科(化学, 生物の全般的内容)に関する事柄について設問を与えて, 思考力, 理解力, 創造力, 表現力, 論理性等を総合的に評価する。
緑地環境学科 食料資源経済学科		小論文	論理的思考力, 理解力, 創造力, 表現力などを総合的に評価する。	

※ 文学部では, 平成28年4月に学部改組を予定しています。この計画は文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり, 変更がありえます。(改組の詳細については, 4~5ページを参照してください。)

(ウ) 教育学部小学校教員養成課程 音楽科選修 演奏実技の実施要領等

下記の共通実技及び選択実技を受験してください。

◎共通実技

○声楽

コールユーブンゲン 第1巻の中から試験の際に指定します。

なお、唱法は固定ド、移動ドのいずれでもかまいません。

○器楽（ピアノ） ※当日指定する長調と短調の音階を暗譜で演奏する。

◎選択実技〔声楽又は器楽（ピアノ）のいずれかを選択してください。〕

○声楽 ※課題曲の中から任意の1曲を暗譜で演奏する。

○器楽（ピアノ） ※課題曲の中から任意の1曲を暗譜で演奏する（繰り返しなし）。

※ 課題曲は8月下旬頃に決定します。詳細は千葉大学教育学部ホームページ
(<http://www.education.chiba-u.jp/>) を参照してください。

(エ) 教育学部中学校教員養成課程 音楽科教育分野 楽典・聴音・演奏実技の実施要領等

楽典・聴音は、全員受験してください。

演奏実技は、A群（ア～オ）又はB群（ア～エ）のいずれかを選択受験してください。

○楽典・聴音

1. 楽典（高等学校卒業程度の音楽一般の常識問題，教育に対する考え方を問う問題を含みます）

2. 聴音 12小節程度の旋律課題 1題

12小節までの和声課題（4声）1題

○演奏実技

[A群] 次の（ア）～（オ）を実施します。

（ア）コンコーネ 50番の中から3曲を ※課題曲とし，1曲を試験の際に指定します。

唱法は，母音ア，暗譜，繰り返しなし。

（高声用，中声用，低声用のいずれでもかまいません。）

（イ）日本歌曲 ※課題曲の中から任意の1曲を暗譜で演奏する。

（ウ）外国歌曲 ※課題曲の中から任意の1曲を原語及び暗譜で演奏する。

（エ）ピアノ ※当日指定する長調と短調の音階を暗譜で演奏する。

※課題曲の中から任意の1曲を暗譜で演奏する。

（オ）コールユーブンゲン 第1巻の中から試験の際に指定します。

（注）（オ）の唱法は固定ド，移動ドのいずれでもかまいません。

[B群] 次の（ア）～（エ）を実施します。

（ア）コンコーネ 50番の中から3曲を ※課題曲とし，1曲を試験の際に指定します。

唱法は，母音ア，暗譜，繰り返しなし。

（高声用，中声用，低声用のいずれでもかまいません。）

（イ）[A群] 中の（イ）日本歌曲（ウ）外国歌曲の中から任意の1曲を原語及び暗譜で演奏する。

（ウ）ピアノ ※当日指定する長調と短調の音階を暗譜で演奏する。

※課題曲の中から任意の2曲を暗譜で演奏する。

（エ）コールユーブンゲン 第1巻の中から試験の際に指定します。

（注）（エ）の唱法は固定ド，移動ドのいずれでもかまいません。

※ 課題曲は8月下旬頃に決定します。詳細は千葉大学教育学部ホームページ
(<http://www.education.chiba-u.jp/>) を参照してください。

(オ) 国際教養学部における外国語検定試験の成績の利用

国際教養学部志願者のうち、通常型入試での受験希望者については、実用英語技能検定、GTEC CBT 等の外国語検定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得していれば、個別学力検査の「外国語」の得点（配点が 300 点）を満点に換算する、又は「外国語」の得点に所定の点数を加点することができます。（満点を上限とします。）

※ 国際教養学部のうち、特色型入試での受験希望者及び他学部志願者は外国語検定試験の成績の利用はできません。

※ 個別学力検査の「外国語」の得点を満点に換算した場合、個別学力検査の「外国語」の受験を免除します。（「外国語」の得点に所定の点数を加点する場合には「外国語」の受験が必要です。）

【外国語検定試験の得点換算】

個別学力検査の「外国語」の得点として換算する外国語検定試験の等級又はスコアは次のとおりです。なお、利用できる外国語検定試験は平成 26 年 1 月 1 日以降に受験した試験を対象とし、利用できる外国語検定試験の得点換算は 1 つのみとします。

「外国語」の 得点換算	TOEFL iBT	IELTS	実用英語技能 検定（英検）	GTEC CBT	TOEIC + TOEIC SW ※
満点に換算	80 以上	6.5 以上	準 1 級以上	1200 以上	1090 以上
30 点加点	65 以上	5.5 以上	—	1050 以上	890 以上
15 点加点	60 以上	4.5 以上	—	1000 以上	790 以上
5 点加点	55 以上	—	—	950 以上	770 以上

※ 「TOEIC テスト」及び「TOEIC SW テスト」両検定試験の受験及びスコアを必須とする。

例① GTEC CBT で 1200 以上を取得している場合、個別学力検査の外国語（配点 300 点）の得点を満点（300 点）として換算します。

② GTEC CBT で 1050 以上 1200 未満の点数を取得している場合、個別学力検査の外国語（配点 300 点）の得点に 30 点を加点します。（加点した結果、300 点を超えた場合、300 点とします。）

ウ 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

(7) 前期日程

学部・学科・課程・選修・分野	試験の区分及び教科・科目等	大学入試センター試験									個別学力検査等									合計						
		国語	地理歴史	公民	数学		理科		外国語	計	国語	数学	地理歴史	理科	外国語	小論文	専門適性検査	面接	その他		計					
国際教養学部	国際教養学科【通常型入試】	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450	国語(300)又は理科(300)を選択 数学(300)又は地理歴史(300)選択 外国語(300)必修									900	1,350					
	国際教養学科【特色型入試】	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450						400		500		900	1,350					
文学部	行動科学科	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450	200	150								550	1,000					
	史学科	100	50	50	50	50	50		100	450	200		200							600	1,050					
	日本文化学科	100	50	50	50	50	50		100	450	200		200							600	1,050					
	国際言語文化学科	100	50	50	50	50	50		100	450	200		150							550	1,000					
教育学部	小学校教員養成課程	国語科選修 社会科選修 算数科選修 理科選修 家庭科選修 教育学選修 教育心理学選修 ものづくり・技術選修 小学校英語選修	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450	200									300	750				
		音楽科選修 図画工作科選修 体育科選修	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450										200	300	750			
	中学校教員養成課程	国語科教育分野	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450	300									150		450	900		
		社会科教育分野	100	50	50	50	50	50		100	450										150	300		450	900	
		家庭科教育分野	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450										150	300		450	900	
		数学科教育分野	100	50		50	50	50	50	100	450		300								150			450	900	
		理科教育分野	100	50		50	50	50	50	100	450				150	150	150							450	900	
		音楽科教育分野	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450										150			450	600	1,050
		美術科教育分野	100	50	50	50	50	50		100	450										150		100	350	600	1,050
		保健体育科教育分野	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450										150			450	600	1,050
		技術科教育分野	100	50		50	50	50	50	100	450		100								100	400		600	1,050	
		英語科教育分野	100	50	50	50	50	50		100	450										300			150	450	900
	特別支援教育教員養成課程 幼稚園教員養成課程	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450	200									100			300	750		
	養護教諭養成課程	100	50		50	50	50	50	100	450										200			250	450	900	
法政経学部	法政経学科	100	50	50	50	50	50		100	450	250	250								300			800	1,250		
理学部	数学・情報数学科	100	50		50	50	50	50	100	450		300								100			400	850		
	物理学科	100	50		50	50	50	50	100	450		200		200	100								500	950		
	化学科	100	50		50	50	50	50	100	450		125		250	100								475	925		
	生物学科	100	50		50	50	50	50	100	450		100		300	150								550	1,000		
	地球科学科	100	50		50	50	50	50	100	450		100		150	100								350	800		
医学部	医学科	100	50		50	50	50	50	100	450		300		150	150	300				100			1,000	1,450		
薬学部		100	50		50	50	50	50	100	450		150		100	150								400	850		
看護学部	看護学科	100	50		50	50	50	50	100	450				300	300					100			700	1,150		
工学部	建築学科 機械工学科 電気電子工学科 情報画像学科	100	50		50	50	50	50	100	450		300		物理 200	化学 100	300							900	1,350		
	都市環境システム学科 メディカルシステム工学科 ナノサイエンス学科 共生応用化学科 画像科学科	100	50		50	50	50	50	100	450		300		150	150	300							900	1,350		
	デザイン学科	100	50		50	50	50	50	100	450		300		200	300		100						900	1,350		
	園芸学部	園芸学科 応用生命化学科 緑地環境学科	100	50		50	50	50	50	100	450		300		300	300								900	1,350	
	食料資源経済学科	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450		450			450								900	1,350		

※ 平成28年4月に国際教養学部の設置及び文学部の学部改組を予定しています。この計画は文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり、変更があります。(改組の詳細については、2～5ページを参照してください。)

(イ) 後期日程

学部・学科	試験の区分 及び教科 ・科目等	大学入試センター試験									個別学力検査等						合計	
		国語	地理歴史	公民	数学		理科		外国語	計	数学	理科	総合テスト	小論文	専門適性検査	面接		計
文学部	行動科学科	120	30	*30	60	60	30	*30	120	450				400			400	850
	史学科	100	50	50	50	50	50	50	100	450				200		200	400	850
	日本文化学科	100	50	50	50	50	50	50	100	450				300			300	750
法政経学部	法政経学科	100	50	50	50	50	50	50	100	450			800				800	1,250
理学部	数学・情報数理学科	100	50		50	50	50	50	100	450	300						300	750
	物理学科	100	50		50	50	50	50	100	450			250				250	700
	化学科	100	50		50	50	50	50	100	450		200					200	650
	生物学科	100	50		50	50	50	50	100	450			450				450	900
	地球科学科	100	50		50	50	50	50	100	450		300					300	750
医学部	医学科	100	50		50	50	50	50	100	450			500	400		100	1,000	1,450
薬学部		100	50		50	50	50	50	100	450			300				300	750
工学部	建築学科 メディカルシステム工学科 電気電子工学科	100	50		50	50	50	50	100	450			150				150	600
	都市環境システム学科 機械工学科 共生応用化学科 画像科学科 情報画像学科	100	50		50	50	50	50	100	450			250				250	700
	デザイン学科	100	50		50	50	50	50	100	450					250		250	700
	ナノサイエンス学科	100	50		50	50	50	50	100	450						100	100	550
	園芸学部	園芸学科	100	50		50	50	50	50	100	450			400				400
園芸学部	応用生命化学科	100	50		50	50	50	50	100	450			400				400	850
	緑地環境学科	100	50		50	50	50	50	100	450				400			400	850
	食料資源経済学科	100	50	*50	50	50	50	*50	100	450				400			400	850

※ 平成28年4月に文学部の学部改組を予定しています。この計画は文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり、変更があります。(改組の詳細については、4～5ページを参照してください。)

【(ア)及び(イ)表中における注意事項】

- 1 大学入試センター試験における理科①の科目(「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」)については、2科目を受験しますが、2科目の合計点(100点満点)を理科1科目分の素点として扱います。
※大学入試センター試験の制度上、理科①の科目は1科目のみ受験することはできません。
- 2 *印は、『地理歴史・公民から1科目、理科から2科目』,又は『地理歴史・公民から2科目、理科から1科目』のいずれかで受験するパターンにおいて、2科目として受験した教科に対してのみ適用される配点です。
- 3 大学入試センター試験の外国語の英語については、筆記試験(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点を他の外国語と同じ200点満点に換算(筆記試験160点満点,リスニング40点満点)し、素点とします。ただし、リスニングの成績を利用しない文学部行動科学科については、筆記試験(200点満点)の得点を素点とします。
また、大学入試センター試験においてリスニングが免除された者は、筆記試験(200点満点)の得点を素点とします。
- 4 (ア)の個別学力検査科目の「その他」は、次のとおりです。
教育学部小学校教員養成課程
音楽科選修:実技 図画工作科選修:実技 体育科選修:実技
教育学部中学校教員養成課程
音楽科教育分野:楽典(聴音を含む)・実技 美術科教育分野:実技 保健体育科教育分野:実技
英語科教育分野:ライティング(英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)
教育学部養護教諭養成課程:保健体育(保健)

エ 身体等に障害を有する入学志願者の事前相談

本学に出願を希望する者で、身体等に障害があり、受験上（及び修学上）特別な配慮を必要とするものは、出願に先立ち、次により本学へ事前相談の申請を行ってください。

なお、不明な点又は事前相談の締切日までに申請することができない場合には事前相談担当までご相談ください。

事前相談担当：学務部入試課入試係（電話 043-290-2182）

(7) 申請方法

申請する場合は、次の①～③（③は提出できる場合のみ）を【〒263-8522 千葉県稲毛区弥生町1番33号 千葉大学学務部入試課入試係】あてに提出してください。

提出された書類に基づき、本学関係者で検討を行います。ただし、検討の過程において、本人、保護者又は出身学校関係者へ照会する場合があります。

①	事前相談申請書 （本学所定の用紙） 申請用紙は、学務部入試課の窓口で直接受け取るか、千葉大学ホームページからダウンロードして入手してください。
②	医師の診断書 （障害の程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの） 大学入試センター試験において受験上の配慮を申請していて、その後、症状並びに希望する措置等に変更がない場合には、大学入試センターに提出した医師の診断書の写しを提出してください。
③	受験上の配慮事項決定通知書 大学入試センター試験において、受験上の配慮を申請して認められた場合、大学入試センターより「受験上の配慮事項決定通知書」が送付されます。千葉大学に事前相談を申請する際に、その通知書の写しを提出してください。

(4) 事前相談の締切日

平成28年1月8日（金）

障害の程度が重度な場合には対応の検討に時間を要することもあります。その場合にはできるだけ早めに申請してください。

なお、上記の締切日以降を過ぎた時点で申請した場合は、出願受付期間内に回答することができないことがあります。その場合には、要望事項等への回答が来る前であっても出願受付期間内に申請する必要があるため、出願後に希望した措置の可否が通知されることとなります。（出願受付期間を延長することはできません）

(5) 申請受付後の回答日

平成28年1月22日（金）（予定）

提出された書類を元に、ご希望の措置が実施できるか本学関係者が検討を行い、支障がないことを確認した時点で、事前相談申請書に記載されている住所あてに、回答文書を郵送します。そのため、上記の回答日はあくまで予定日となります。

(注) 1. 希望する措置の検討に加えて、他に修学上等で考えられる問題がないかの検討も行います。

本学で受付をした後、検討に1～2週間程度の期間を見込んでいます。

2. 事前相談の締切日より早く申請した場合には、検討を早く開始できるので、回答日が早くなる場合があります。

3. 出願を希望する学部・学科等に変更が生じた場合には、改めて変更を希望する学部・学科での検討が必要になりますので、速やかに事前相談担当までご連絡ください。

6. A O入試

(A O入試)

実施学部・課程・選修及び募集人員	<p>教育学部 小学校教員養成課程 50名（地域選抜枠 30名を含む） ※ 各選修の募集人員は、おおむね次のとおりです。 国語科選修 6名、社会科選修 6名、算数科選修 6名、理科選修 6名、音楽科選修 2名、 図画工作科選修 2名、体育科選修 3名、家庭科選修 2名、教育学選修 6名、 教育心理学選修 6名、ものづくり・技術選修 3名、小学校英語選修 2名</p>																									
出願資格	<p>次の①～⑥のいずれか（地域選抜枠については千葉県内の高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。）を平成 28 年 3 月卒業見込みの者（高等専門学校第 3 年次修了見込みの者を含む。））に該当し、かつ、平成 28 年 1 月実施の平成 28 年度大学入学資格検定試験センター試験で指定する教科・科目（選抜方法等を参照）を受験する者</p> <p>① 高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業した者及び平成 28 年 3 月卒業見込みの者 ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 28 年 3 月修了見込みの者※ ※特別支援学校の高等部又は高等専門学校の 3 年次を修了した（見込みの）者が該当します。 ③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 28 年 3 月までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 28 年 3 月までに修了見込みの者 ⑤ 文部科学大臣の指定した者 ⑥ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成 28 年 3 月までに合格見込みの者</p>																									
出願要件	<p>小学校教員になろうとする強い意欲を有し、合格した場合に入学を確約できる人。地域選抜枠で募集する学生は、卒業後千葉県の小学校教員として地域に社会貢献しようとする強い意志を有する人。</p>																									
選抜方法等	<p>提出された書類並びに専門適性検査（※）及び面接（志望する選修によっては基礎的な実技を実施します。）により、総合判定のうえ合格内定者を決定し、更に平成28年度大学入試センター試験で指定する教科・科目の成績（素点。なお、国語及び外国語は各100点満点に換算します。）の総得点が60%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。</p> <p>（※）専門適性検査について 小学校教員にふさわしい資質と適性を評価するため、理解力や表現力等をはかる課題を課します。</p> <table border="1" data-bbox="268 1120 1385 1532"> <thead> <tr> <th colspan="4">大学入試センター試験の指定教科・科目</th> </tr> <tr> <th colspan="2">指定教科・科目</th> <th colspan="2">指定科目数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>国語</td> <td>1科目</td> <td rowspan="5">左記から計3科目</td> </tr> <tr> <td>地理歴史 公民</td> <td>世界史B, 日本史B, 地理B, 現代社会, 「倫理, 政治・経済」</td> <td>1科目</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>数学Ⅰ, 数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ, 数学Ⅱ・数学B, 工業数理基礎, 簿記・会計, 情報関係基礎</td> <td>1科目</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">理科</td> <td>物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 (基礎を付した科目は2科目で1科目として扱う)</td> <td rowspan="2">1科目</td> </tr> <tr> <td>物理, 化学, 生物, 地学</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語</td> <td>1科目</td> </tr> </tbody> </table> <p>指定する教科・科目数を超えて受験している場合は、指定教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。また、「工業数理基礎」、「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業（見込）者に限ります。（工業数理基礎は指導要領の改訂に伴う経過措置として実施される旧教育課程履修者のみ受験可能な科目です。新教育課程履修者は受験できません。）</p>	大学入試センター試験の指定教科・科目				指定教科・科目		指定科目数		国語	国語	1科目	左記から計3科目	地理歴史 公民	世界史B, 日本史B, 地理B, 現代社会, 「倫理, 政治・経済」	1科目	数学	数学Ⅰ, 数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ, 数学Ⅱ・数学B, 工業数理基礎, 簿記・会計, 情報関係基礎	1科目	理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 (基礎を付した科目は2科目で1科目として扱う)	1科目	物理, 化学, 生物, 地学	外国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	1科目
大学入試センター試験の指定教科・科目																										
指定教科・科目		指定科目数																								
国語	国語	1科目	左記から計3科目																							
地理歴史 公民	世界史B, 日本史B, 地理B, 現代社会, 「倫理, 政治・経済」	1科目																								
数学	数学Ⅰ, 数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ, 数学Ⅱ・数学B, 工業数理基礎, 簿記・会計, 情報関係基礎	1科目																								
理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 (基礎を付した科目は2科目で1科目として扱う)	1科目																								
	物理, 化学, 生物, 地学																									
外国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	1科目																								
出願期間	平成 27 年 8 月 31 日（月）～ 9 月 4 日（金） 17 時必着																									
選抜期日	平成 27 年 9 月 26 日（土）																									
合格発表	平成 28 年 2 月 9 日（火） [合格内定者の発表：平成 27 年 10 月 16 日（金）]																									
その他	<p>A O入試学生募集要項（願書）は教育学部学務室入試係の窓口で配付します。郵送を希望する場合は、「A O入試学生募集要項請求」と朱書した封筒に、205 円分の郵便切手を貼った返信用封筒（角形 2 号：約 33×24cm, 表面に郵便番号, 住所, 氏名を明記すること）を同封し、下記あてに送付してください。</p> <p>募集要項請求・問い合わせ先：千葉大学教育学部学務室入試係 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1 番 33 号 電話 043-290-2515</p>																									

7. 推薦入試

(1)

(推薦入試)

実施学部・学科及び募集人員	文学部 行動科学科 9 名, 史学科 5 名, 国際言語文化学科 10 名	
出願資格等	行動科学科 史学科	高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成 28 年 3 月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき平成 27 年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。）で、調査書の学習成績概評が A 段階にあり、かつ出身高等学校長（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の長を含む。）が責任をもって推薦するもの
	国際言語文化学科	次の①～④のすべての要件を満たす者 ① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成 28 年 3 月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき平成 27 年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。） ② 調査書の学習成績概評が A 段階にある者 ③ 外国語（第 1 外国語, 第 2 外国語と開設している学校においては, 第 1 外国語）の評定平均値が 4.5 以上の者 ④ 出身高等学校長（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の長を含む。）が責任をもって推薦する者
選抜方法等	提出された書類（調査書, 推薦書）並びに小論文及び面接により, 総合判定のうえ合格者を決定します。 （大学入試センター試験は免除します。）	
出願期間	平成 27 年 11 月 2 日（月）～11 月 5 日（木）（11 月 3 日（火）祭日を除く）17 時必着	
選抜期日	平成 27 年 11 月 14 日（土）～11 月 15 日（日）	
合格発表	平成 27 年 12 月 11 日（金）	
その他	なし	

※ 文学部では, 平成 28 年 4 月に学部改組を予定しています。この計画は文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり, 変更があります。(改組の詳細については, 4～5 ページを参照してください。)

実施学部・課程・分野及び募集人員		教育学部 中学校教員養成課程各分野 2名, 特別支援教育教員養成課程 5名, 幼稚園教員養成課程 5名, 養護教諭養成課程 10名
出 願 資 格	中学校教員養成課程 技術科教育分野	次のいずれかに該当する者で, 出身高等学校長が責任を持って推薦するもの ① 高等学校の工業, 農業に関する学科及び総合学科(工業, 農業に関する教科・科目を15単位以上修得した者又は修得見込みの者)を平成28年3月卒業見込みの者(学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成27年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。) ② 高等専門学校第3年次を平成28年3月修了見込みの者
	国語科教育分野 社会科教育分野 数学科教育分野 理科教育分野 音楽科教育分野 美術科教育分野 保健体育科教育分野 家庭科教育分野 英語科教育分野	次のいずれかに該当する者で, 出身高等学校長(文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の長を含む。)が責任を持って推薦し, 平成28年1月実施の平成28年度大学入学者選抜大学入試センター試験で指定された教科・科目(選抜方法を参照)を受験するもの ① 高等学校(中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。)を平成28年3月卒業見込みの者(学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成27年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。) ② 通常の課程による12年の学校教育を平成28年3月修了見込みの者 ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成28年3月までに修了見込みの者
	特別支援教育教員養成課程	
	幼稚園教員養成課程	
	養護教諭養成課程	
選 抜 方 法 等	中学校教員養成課程 技術科教育分野	適性検査, 面接の結果及び提出書類(調査書等, 推薦書, 志望理由書, 活動履歴書)により, 総合判定のうえ合格者を決定します。 (大学入試センター試験は免除します。)
	国語科教育分野 社会科教育分野 数学科教育分野 理科教育分野 保健体育科教育分野 家庭科教育分野 英語科教育分野	面接(面接資料作成を含む。)の結果及び提出書類(調査書等, 推薦書, 志望理由書, 活動履歴書)により, 総合判定のうえ合格者(合格内定者)を決定し, 更に, 平成28年度大学入試センター試験で指定する教科・科目(AO入試と同じ。ただし, 工業数理基礎は対象外とします。)のうち, 高得点の3教科3科目の総合点が60%に達した合格者(合格内定者)を最終合格者として決定します。
	特別支援教育教員養成課程	
	幼稚園教員養成課程	
	中学校教員養成課程 音楽科教育分野 中学校教員養成課程 美術科教育分野 養護教諭養成課程	適性検査, 面接の結果及び提出書類(調査書等, 推薦書, 志望理由書, 活動履歴書)により, 総合判定のうえ合格者(合格内定者)を決定し, 更に, 平成28年度大学入試センター試験で指定する教科・科目(AO入試と同じ。ただし, 工業数理基礎は対象外とします。)のうち, 高得点の3教科3科目の総合点が60%に達した合格者(合格内定者)を最終合格者として決定します。
出 願 期 間	平成27年11月2日(月)~11月5日(木) 17時必着	
選 抜 期 日	平成27年11月21日(土)	
合 格 発 表	中学校教員養成課程 技術科教育分野 平成27年12月18日(金)	
	上記以外の課程・分野 合格者(合格内定者):平成27年12月18日(金) 最終合格者 :平成28年2月9日(火)	
そ の 他	なし	

(3) (推薦入試)

実施学部・学科及び募集人員	理学部 物理学科 4 名, 地球科学科 4 名
出願資格等	次の①及び②の要件を満たす者で, 出身高等学校長(文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の長を含む。)が責任をもって推薦するもの ① 高等学校(中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。)を平成 28 年 3 月卒業見込みの者(学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき平成 27 年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者, 高等専門学校第 3 年次修了見込みの者を含む。) ② 物理学科: 調査書における数学の評定平均値と理科の物理科目の評定の平均値がいずれも 4.5 以上で, 物理学の学習に意欲を持っている者 地球科学科: 調査書における数学, 理科の科目, そして英語の評定の平均値がいずれも 4.0 以上で, 地球科学に関する様々な現象に強い興味を持ち, 勉学に取り組む意欲を持っている者
選抜方法等	提出された書類(調査書, 推薦書, 志望理由書)及び総合テストにより, 第 1 次判定を行います。 第 1 次判定合格者に対して面接を行い, 総合判定のうえ合格者を決定します。 (大学入試センター試験は免除します。)
出願期間	平成 27 年 11 月 2 日(月)～11 月 5 日(木)(祝日を除く) 17 時必着
選抜期日	平成 27 年 11 月 14 日(土)
合格発表	平成 27 年 12 月 4 日(金)
その他	① 物理学科総合テストは, 物理(物理基礎・物理)に関する事柄を中心に, それに関連した数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学 A・数学 B)を含めて出題し, 思考力, 理解力, 表現力, 論理性等を総合的に評価します。 ② 地球科学科総合テストは, 地学(地学基礎・地学)に関する事柄を出題し, 自然科学への関心の深さ, 論理的思考力, 文章表現力等を総合的に評価します。

(4) (推薦入試)

実施学部及び募集人員	薬学部 10 名																										
出願資格等	次の①～④のすべての要件を満たす者 ① 高等学校(中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。)を平成 28 年 3 月卒業見込みの者(学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき平成 27 年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。) ② 調査書の学習成績概評が A 段階の者 ③ 将来薬学領域の発展に貢献することが期待できる能力と大学院博士課程進学を希望する研究マインドを持ち, 出身学校長(文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の長を含む。)が責任をもって推薦できる者 ④ 平成 28 年 1 月実施の平成 28 年度大学入学者選抜大学入試センター試験で指定する教科・科目(選抜方法等を参照)を受験する者 * 推薦は, 1 高等学校につき 1 名ないし 2 名とします。																										
選抜方法等	提出された書類(調査書, 推薦書及び志望理由書)並びに総合テスト, 面接及び平成 28 年度大学入試センター試験の成績を総合判定のうえ合格者を決定します。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="4">大学入試センター試験の指定教科・科目</th> </tr> <tr> <th colspan="2">指定教科・科目</th> <th colspan="2">指定科目数</th> </tr> <tr> <td>国語</td> <td>国語</td> <td>1 科目</td> <td rowspan="6">計 7 科目</td> </tr> <tr> <td>地理歴史 公民</td> <td>世界史 B, 日本史 B, 地理 B, 現代社会, 「倫理, 政治・経済」</td> <td>1 科目</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">数学</td> <td>数学Ⅰ・数学 A</td> <td>1 科目</td> </tr> <tr> <td>数学Ⅱ・数学 B</td> <td>1 科目</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>物理, 化学, 生物</td> <td>2 科目</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語</td> <td>1 科目</td> </tr> </table>	大学入試センター試験の指定教科・科目				指定教科・科目		指定科目数		国語	国語	1 科目	計 7 科目	地理歴史 公民	世界史 B, 日本史 B, 地理 B, 現代社会, 「倫理, 政治・経済」	1 科目	数学	数学Ⅰ・数学 A	1 科目	数学Ⅱ・数学 B	1 科目	理科	物理, 化学, 生物	2 科目	外国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	1 科目
大学入試センター試験の指定教科・科目																											
指定教科・科目		指定科目数																									
国語	国語	1 科目	計 7 科目																								
地理歴史 公民	世界史 B, 日本史 B, 地理 B, 現代社会, 「倫理, 政治・経済」	1 科目																									
数学	数学Ⅰ・数学 A	1 科目																									
	数学Ⅱ・数学 B	1 科目																									
理科	物理, 化学, 生物	2 科目																									
外国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	1 科目																									
出願期間	平成 27 年 11 月 4 日(水)～11 月 6 日(金) 17 時必着																										
選抜期日	平成 27 年 11 月 14 日(土)～11 月 15 日(日)																										
合格発表	平成 28 年 2 月 9 日(火)																										
その他	総合テストは化学に関する事柄を中心に英語を含めて出題し, 思考力, 理解力, 表現力, 論理性等を総合的に評価します。																										

(注) 地理歴史及び公民において, 2 科目受験している場合は, 第 1 解答科目の成績を利用します。

(5) (推薦入試)

実施学部・学科及び募集人員	看護学部 看護学科 24名
出願資格等	<p>次の①～⑤のすべての要件を満たす者</p> <p>① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成28年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成27年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。）</p> <p>② 調査書の学習成績概評がA段階の者</p> <p>③ 入学後看護学の修得に意欲的に取り組み、将来看護の実践・研究・教育に貢献できる者</p> <p>④ 出身高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の長を含む。）が責任をもって推薦する者</p> <p>⑤ 以下に示す教科・科目の単位を修得した者（履修中の者を含む。）</p> <p>数学（数学A，数学B，数学Ⅱ） 理科（物理基礎・物理，化学基礎・化学，生物基礎・生物から1） 外国語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ，ドイツ語，フランス語から1）</p> <p>* 推薦は，1高等学校につき1名ないし2名とします。</p>
選抜方法等	提出された書類（調査書，推薦書）並びに小論文及び面接により，総合判定のうえ合格者を決定します。（大学入試センター試験は免除します。）
出願期間	平成27年11月2日（月）～11月5日（木） 17時必着 ※3日（火）は除く。
選抜期日	平成27年11月14日（土）
合格発表	平成27年11月27日（金）
その他	なし

(6) (推薦入試)

実施学部・学科及び募集人員	区分	職業に関する学科及び総合学科（※）	普通科及びその他の学科
	学部・学科		
	園芸学科	2名	2名
	園芸学部	1名	
	応用生命化学科		
	緑地環境学科	2名	4名
	食料資源経済学科	3名	
	合計	14名	
	<p>※ 区分の「職業に関する学科」とは，高等学校の専門教育を主とする学科のうち，外国語，美術，音楽に関する学科及び理数科を除いた学科を指します。</p>		
出願資格等	<p>高等学校（中等教育学校を含む。）を平成28年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成27年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。）で，学業成績，学習意欲，人物がともに優れ，調査書の学習成績概評がA段階以上にあり，高等学校長（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の長を含む。）が責任をもって推薦するもの</p> <p>* 推薦できる生徒の人数等は，以下のとおりです。</p> <p>【園芸学科及び緑地環境学科】 1高等学校につき何名でも推薦できます。</p> <p>【応用生命化学科及び食料資源経済学科】 1高等学校につき各志望学科あたり1名の推薦とします。分校をもつ高等学校は，分校からも各志望学科あたり1名の推薦ができます。</p>		
選抜方法等	園芸学科 応用生命化学科 緑地環境学科	提出された書類並びに小論文及び面接（口頭試問を含む）により，総合判定のうえ合格者を決定します。（大学入試センター試験は免除します。）	
	食料資源経済学科	提出された書類並びに面接（口頭試問を含む）及びプレゼンテーション（※）により，総合判定のうえ合格者を決定します。（大学入試センター試験は免除します。） （※）プレゼンテーションについて ・形式は原則としてポスター発表，パワーポイントのいずれかです。 ・内容は，食料資源経済学科が研究対象とする分野（食料，資源，環境等）について自身でテーマを設定し，高等学校等で学んだ事項（社会科学分野が望ましい）をもとに研究した成果とします。	
出願期間	平成27年11月2日（月）～11月5日（木） 17時必着		
選抜期日	平成27年11月15日（日）		
合格発表	平成27年12月4日（金）		
その他	なし		

8. 理数大好き学生選抜

(1) 理数大好き学生選抜 (方式 I)

(理数大好き学生選抜)

実施学部・学科及び募集人員	工学部 ナノサイエンス学科 若干名																														
出願資格等	<p>次の①～③のすべての要件を満たす者</p> <p>① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成 27 年 3 月に卒業した者及び平成 28 年 3 月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき平成 27 年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。）</p> <p>② 次のア又はイのいずれかに該当する者 ア 理科に関する実験・調査活動・クラブ活動などを通して優れた自由研究を行った者 イ 日本学生科学賞（読売新聞社）、JSEC（朝日新聞社）など、審査制度のある自然科学並びに工学系のコンテストやコンクール等で優れた成果を発表した者</p> <p>③ 平成 28 年 1 月実施の平成 28 年度大学入学者選抜大学入試センター試験で指定する教科・科目（選抜方法等を参照）を受験する者</p>																														
選抜方法等	<p>① 出願時に提出された書類（調査書、志望理由書、研究成果報告書等）により、第 1 次選抜合格者を決定します。</p> <p>② 第 1 次選抜合格者に対し、研究成果の発表等の面接により、第 2 次選抜合格者を決定します。</p> <p>③ 第 2 次選抜合格者のうち、平成 28 年度大学入試センター試験において下記の指定教科・科目を受験し、指定教科・科目の総得点（配点合計）が 70% に達した者を最終合格者として決定します。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="4">大学入試センター試験の指定教科・科目</th> </tr> <tr> <th colspan="2">指定教科・科目</th> <th>指定科目数</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">数 学</td> <td>数学Ⅰ・数学A</td> <td>1 科目</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>数学Ⅱ・数学B</td> <td>1 科目</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">理 科</td> <td>物理</td> <td>1 科目</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>化学</td> <td>1 科目</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>英語(筆記+リスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語</td> <td>1 科目</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>合計 800 点</td> </tr> </tbody> </table>	大学入試センター試験の指定教科・科目				指定教科・科目		指定科目数	配点	数 学	数学Ⅰ・数学A	1 科目	100	数学Ⅱ・数学B	1 科目	100	理 科	物理	1 科目	200	化学	1 科目	200	外国語	英語(筆記+リスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	1 科目	200				合計 800 点
大学入試センター試験の指定教科・科目																															
指定教科・科目		指定科目数	配点																												
数 学	数学Ⅰ・数学A	1 科目	100																												
	数学Ⅱ・数学B	1 科目	100																												
理 科	物理	1 科目	200																												
	化学	1 科目	200																												
外国語	英語(筆記+リスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	1 科目	200																												
			合計 800 点																												
出願期間	平成 27 年 10 月 29 日（木）～11 月 4 日（水） 17 時必着																														
選 抜 期 日	第 1 次選抜：書類選考〔平成 27 年 11 月 6 日（金）～11 月 9 日（月）〕 第 2 次選抜：平成 27 年 11 月 21 日（土）																														
合 格 発 表	平成 28 年 2 月 10 日（水） 〔第 1 次選抜合格者の発表：平成 27 年 11 月 10 日（火）（結果は郵送）〕 〔第 2 次選抜合格者の発表：平成 27 年 12 月 4 日（金）（結果は郵送）〕																														
そ の 他	研究成果の発表方式： 一人当たり 20～30 分の面接時間の前半 10 分で研究成果の発表を行い、後半で質疑応答を行います。研究成果の発表方式は自由ですが、出願時に方式の申告が必要となります。詳細は募集要項で公表します。																														

(注) 大学入試センター試験の受験教科・科目については、上記 3 教科 5 科目に制限するものではありません。
上記以外の教科・科目を受験しても、本選抜には影響しません。

(2) 理数大好き学生選抜(方式Ⅱ)

(理数大好き学生選抜)

実施学部・学科及び募集人員	工学部 ナノサイエンス学科 若干名
出願資格等	<p>次の①～②のすべての要件を満たす者</p> <p>① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成 27 年 3 月に卒業した者及び平成 28 年 3 月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき平成 27 年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。）</p> <p>② 高校生を対象とした個人研究で、著名な国際科学コンクールの日本代表またはそれに準ずる成績をおさめた者</p> <p>(注) “著名な国際科学コンクールの日本代表またはそれに準ずる成績をおさめた者”に関する具体例としては下記のような賞があります。</p> <p>国際学生科学技術フェア (Intel ISEF) の日本代表を決める際の選出対象となる下記の賞</p> <p>1) 日本学生科学賞 入賞者 (内閣総理大臣賞, 文部科学大臣賞, 環境大臣賞, 科学技術政策担当大臣賞, 全日本科学教育振興委員会賞, 読売新聞社賞, 科学技術振興機構賞, 日本科学未来館賞, 旭化成賞, 読売理工学院賞) など</p> <p>2) 高校生科学技術チャレンジ グランドアワード 3 賞 (文部科学大臣賞, 科学技術政策担当大臣賞, 科学技術振興機構賞), 特別協賛社賞 (富士通賞), 協賛社賞 (花王賞, JFE スチール賞), 主催者賞 (朝日新聞社賞) など</p>
選抜方法等	<p>提出された書類 (調査書, 志望理由書, 研究成果報告書等) 並びに研究発表, 面接及び口頭試問により, 総合判定のうえ合格者を決定します。</p> <p>(大学入試センター試験は免除します。)</p>
出願期間	平成 27 年 10 月 29 日 (木) ～11 月 4 日 (水) 17 時必着
選抜期日	平成 27 年 11 月 21 日 (土)
合格発表	平成 27 年 12 月 4 日 (金)
その他	<p>研究成果の発表方式 :</p> <p>一人当たり 20～30 分の面接時間の前半 10 分で研究成果の発表を行い, 後半で質疑応答を行います。研究成果の発表方式は自由ですが, 出願時に方式の申告が必要となります。詳細は募集要項で公表します。</p>

9. 経済学特進プログラム選抜

(1)

(経済学特進プログラム選抜)

実施学部・学科及び募集人員	法政経学部 法政経学科 若干名										
出願資格等	<p>次の①～③の要件をすべて満たす者</p> <p>① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成28年（2016年）3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成27年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、及び外国において学校教育を受け、引き続き日本の高等学校に編入学した者で平成28年（2016年）3月卒業見込みの者を含む。）</p> <p>② 次の英語外部検定試験のいずれかの条件を満たしている者</p> <table border="1"> <tr> <td>(1) TOEFL iBT</td> <td>61点以上</td> </tr> <tr> <td>(2) IELTS</td> <td>5.5以上</td> </tr> <tr> <td>(3) GTEC for STUDENTS</td> <td>680点以上</td> </tr> <tr> <td>(4) GTEC CBT</td> <td>1010点以上</td> </tr> <tr> <td>(5) 実用英語技能検定</td> <td>準1級以上</td> </tr> </table> <p>上記のスコアを証明する書類は、出願書類と同時に提出する必要があります。</p> <p>③ 平成28年度大学入試センター試験で指定する教科・科目（選抜方法を参照）を受験する者</p>	(1) TOEFL iBT	61点以上	(2) IELTS	5.5以上	(3) GTEC for STUDENTS	680点以上	(4) GTEC CBT	1010点以上	(5) 実用英語技能検定	準1級以上
(1) TOEFL iBT	61点以上										
(2) IELTS	5.5以上										
(3) GTEC for STUDENTS	680点以上										
(4) GTEC CBT	1010点以上										
(5) 実用英語技能検定	準1級以上										
選抜方法等	<p>下記の①～②の合計点数により、合格者を決定します。ただし、平成28年度大学入試センター試験の「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」の素点合計が75%未満であるか、もしくは下記の①～②の合計点数が75%未満であるか、いずれかの条件に該当する者については不合格とします。</p> <p>① 平成28年度大学入試センター試験の「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」の素点合計（200点満点）</p> <p>② 面接試験の点数（200点満点）</p> <p>合計400点満点</p>										
出願期間	平成28年1月22日（金）～1月25日（月） 17時必着										
選抜期日	平成28年2月7日（日）										
合格発表	平成28年2月9日（火）										
その他	<p>出願時に面接資料として、グローバルな経済社会に関する関心事と将来のキャリアプランを記載した「志望理由書」の提出を求めます。</p> <p>合格者は、1年次から経済学コースに配属され、経済学特進プログラムを履修します。経済学特進プログラムとは、国際化の流れのなかでグローバル経済をリードしうる人材を養成するため、1年次から経済学を専門的に学ぶことができるように経済学コースに設置されるものです。このプログラムを履修し、優秀な成績を修めれば3年間で早期卒業することができます。さらに大学院で専門的な教育を受ければ、将来、国際機関・官公庁の経済専門職、大学教員やシンクタンク・エコノミストなどの研究者として活躍することも可能となります。</p>										

10. 帰国子女入試

(1) 薬学部4月入学

(帰国子女入試)

実施学部及び募集人員	薬学部 若干名
出願資格等	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、外国において最終の学年を含め2学年以上継続して学校教育を受けている者で、次のいずれかに該当するもの。ただし、保護者の海外勤務に随伴して渡航した者に限ります。</p> <p>① 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成26年（2014年）4月から平成28年（2016年）3月までの間に修了した者及び修了する見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（学校教育法施行規則第150条第1号）</p> <p>② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を、平成26年（2014年）又は平成27年（2015年）に授与された者で18歳に達したものと及び平成28年（2016年）3月までに18歳に達するもの</p> <p>③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で18歳に達したものと及び平成28年（2016年）3月までに18歳に達するもの</p> <p>④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で18歳に達したものと及び平成28年（2016年）3月までに18歳に達するもの</p> <p>〔注1〕上記①の「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」は、次のとおりです。 （昭和56年文部省告示第153号第1号） 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に平成26年（2014年）又は平成27年（2015年）に合格した者で、18歳に達したものと及び平成28年（2016年）3月までに18歳に達するもの</p> <p>〔注2〕外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなされません。</p>
選抜方法等	<p>提出された書類（推薦書、志望理由書及び成績証明書等）並びに総合テスト及び面接により、総合判定のうえ合格者を決定します。 （大学入試センター試験は免除します。）</p>
出願期間	平成27年（2015年）11月4日（水）～11月6日（金） 17時必着
選抜期日	平成27年（2015年）11月14日（土）～11月15日（日）
合格発表	平成27年（2015年）12月4日（金）
その他	<p>総合テストは化学に関する事柄を中心に英語を含めて出題し、思考力、理解力、表現力、論理性等を総合的に評価します。</p>

実施学部・学科及び募集人員	薬学部 薬科学科 若干名
出願資格等	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、外国において最終の学年を含め 2 学年以上継続して学校教育を受けている者で、下記の (1) 及び (2) の要件を満たすもの。ただし、保護者の海外勤務に随伴して渡航した者に限ります。</p> <p>(1) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 外国において学校教育における 12 年の課程 (日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。) を平成 26 年 (2014 年) 9 月から平成 28 年 (2016 年) 8 月までの間に修了した者及び修了する見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (学校教育法施行規則第 150 条第 1 号)</p> <p>② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を、平成 26 年 (2014 年) 9 月以降に授与された者で 18 歳に達したものと及び平成 28 年 (2016 年) 8 月までに 18 歳に達するもの</p> <p>③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で 18 歳に達したものと及び平成 28 年 (2016 年) 8 月までに 18 歳に達するもの</p> <p>④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で 18 歳に達したものと及び平成 28 年 (2016 年) 8 月までに 18 歳に達するもの</p> <p>[注 1] 上記①の「これらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」は、次のとおりです。 (昭和 56 年文部省告示第 153 号第 1 号) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定 (国の検定に準ずるものを含む。) に平成 26 年 (2014 年) 9 月以降に合格した者で、18 歳に達したものと及び平成 28 年 (2016 年) 8 月までに 18 歳に達するもの</p> <p>[注 2] 外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなされません。</p> <p>(2) 平成 26 年 (2014 年) 11 月以降に実施された TOEFL (Test of English as a Foreign Language) 又は TOEIC (Test of English for International Communication) を受験し、所定の点数 (TOEFL-PBT 550 点以上, TOEFL-iBT 79 点以上, TOEIC 730 点以上のいずれか) を取得した者</p>
選抜方法等	<p>提出された書類 (推薦書, 志望理由書及び成績証明書等) 並びに外国語 (英語), 理科 (化学基礎・化学, 生物基礎・生物) 及び面接により, 総合判定のうえ合格者を決定します。 (大学入試センター試験は免除します。)</p>
出願期間	平成 28 年 (2016 年) 6 月 6 日 (月) ~ 6 月 16 日 (木) 17 時必着
選抜期日	平成 28 年 (2016 年) 7 月 2 日 (土)
合格発表	平成 28 年 (2016 年) 7 月 29 日 (金)
その他	<p>入学時期: 平成 28 年 (2016 年) 9 月 1 日 9 月には集中講義及び補習講義等を行います。</p> <p>早期卒業: 学業成績が優秀であり, かつ大学院修士課程に入学を希望する学生には 3 年半で卒業できる制度があります。</p>

11. 社会人入試

(1) (社会人入試)

実施学部・学科及び募集人員	文学部 史学科 若干名
出願資格等	入学年の4月1日現在、28歳以上の者で、高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業したもの及び卒業見込みのもの、又は高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格したもの（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
選抜方法等	提出された書類（調査書等）及び小論文に基づき面接を行い、総合的に判断し、合格者を決定します。 （大学入試センター試験は免除します。）
出願期間	平成27年10月6日（火）～10月8日（木） 17時必着
選抜期日	平成27年11月14日（土）
合格発表	平成27年12月11日（金）
その他	なし

※ 文学部では、平成28年4月に学部改組を予定しています。この計画は文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり、変更がありえます。（改組の詳細については、4～5ページを参照してください。）

(2) (社会人入試)

実施学部・学科及び募集人員	看護学部 看護学科 7名
出願資格等	次の①～③のすべての要件を満たす者 ① 大学入学資格を有し、平成28年4月1日現在において満25歳以上の者 ② 出願時に社会人としての職業経験を4年以上有する者 ③ 入学後は看護学を修める意志があり、卒業後は看護の分野に就業する意志のある者
選抜方法等	提出された書類（出願調書等）並びに小論文及び面接により、総合判定のうえ合格者を決定します。 （大学入試センター試験は免除します。）
出願期間	平成27年8月3日（月）～8月6日（木） 17時必着
選抜期日	平成27年9月9日（水）
合格発表	平成27年10月2日（金）
その他	社会人としての職業経験については、学生募集要項を参照してください。

(3) (社会人入試)

実施学部・学科及び募集人員	園芸学部 園芸学科、緑地環境学科 若干名
出願資格等	次の要件をすべて満たす者 ① 大学入学資格を有し、平成28年4月1日現在において満20歳以上の者 ② 出願時に2年以上日本において農業・緑地に関する職業に就いている者又は、入学時に日本の農業・緑地関係の高等教育機関に2年以上在籍した経験を有する者
選抜方法等	提出された書類（調査書等）並びに小論文及び面接により、総合判定のうえ合格者を決定します。（大学入試センター試験は免除します。）
出願期間	平成27年11月2日（月）～11月5日（木） 17時必着
選抜期日	平成27年11月15日（日）
合格発表	平成27年12月4日（金）
その他	なし

12. 先進科学プログラム（飛び入学）学生選抜

(1) 先進科学プログラム4月入学（春飛び入学）学生選抜（方式Ⅰ）

（先進科学プログラム学生選抜）

募集分野 [学部・学科]	<ul style="list-style-type: none"> ・物理学関連分野 [理学部 物理学科] ・工学関連分野 [工学部 建築学科] ・工学関連分野 [工学部 都市環境システム学科] ・工学関連分野 [工学部 デザイン学科] ・工学関連分野 [工学部 機械工学科] ・工学関連分野 [工学部 メディカルシステム工学科] ・工学関連分野 [工学部 電気電子工学科] ・工学関連分野 [工学部 ナノサイエンス学科] ・工学関連分野 [工学部 画像科学科] ・工学関連分野 [工学部 情報画像学科]
募集人員	各分野共若干名（特に定員は定めていません。）
出願資格等	<p>学校教育法第90条第1項又は同条第2項の規定により大学入学資格を有する者で、次の二つの要件を満たし、高等学校長等が責任をもって推薦するもの</p> <p>① 平成28年3月31日において年齢が満17歳以下の者（高等学校卒業程度認定試験合格者は満17歳の者）</p> <p>② 次の分野のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理学関連分野：物理学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者 ・工学関連分野：工学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者
選抜方法等	<p>提出された書類（自己推薦書、推薦書及び調査書）並びに課題論述により、第1次判定合格者を決定します。さらに、第1次判定合格者に対して面接を行い、総合的に合否を判定します。ただし、物理学関連分野では、全国物理コンテスト物理チャレンジ（※）の第1チャレンジ合格者については、課題論述を免除します。（詳細は、7月下旬に発表予定の先進科学プログラム（飛び入学）学生募集要項でご確認ください。）</p>
出願期間	平成27年11月19日（木）～11月26日（木） 17時必着
選抜期日	<p>課題論述：平成27年12月19日（土）</p> <p>面接：平成27年12月20日（日）</p>
合格発表	<p>平成28年1月15日（金）</p> <p>〔第1次判定合格者の発表：平成27年12月20日（日）に学内に掲示します。〕</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・先進科学プログラム入学者の入学料は全額免除されます。 ・先進科学プログラム（飛び入学）学生募集要項 <ul style="list-style-type: none"> ○発表予定時期 平成27年7月下旬 ○請求方法等 テレメール進学サイトのホームページ (http://telemail.jp) から請求することができます。（資料請求番号：982048） <p>また、郵送を希望する場合は、「先進科学プログラム学生募集要項請求」と朱書した封筒に、350円分の郵便切手を貼った返信用封筒（角形2号：約33×24cm、表面に郵便番号、住所、氏名を明記すること）を同封し、下記あてに送付してください。</p> <p style="text-align: center;">千葉大学先進科学センター 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 (TEL: 043-290-3521)</p>

（※） 全国物理コンテスト物理チャレンジ <http://www.jpho.jp/>

特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会主催で、国際物理オリンピック国内予選となっています。

・2,3月に実施する方式Ⅱの入試については45ページを、7月に実施する方式Ⅲの入試については46ページを参照してください。

募集分野 [学部・学科]	<ul style="list-style-type: none"> ・物理学関連分野 [理学部 物理学] ・物理化学・生命化学関連分野 [理学部 化学] ・工学関連分野 [工学部 電気電子工学科] ・工学関連分野 [工学部 ナノサイエンス学科] ・工学関連分野 [工学部 画像科学] ・工学関連分野 [工学部 情報画像] ・人間科学関連分野 [文学部 行動科学]
募集人員	各分野共若干名（特に定員は定めていません。）
出願資格等	<p>学校教育法第90条第1項又は同条第2項の規定により大学入学資格を有する者で、次の二つの要件を満たし、高等学校長等が責任をもって推薦するもの</p> <p>① 平成28年3月31日において年齢が満17才以下の者（高等学校卒業程度認定試験合格者は満17歳の者）</p> <p>② 次の分野のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理学関連分野：物理学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者 ・物理化学・生命化学関連分野：物理化学や生命化学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者 ・工学関連分野：工学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者 ・人間科学関連分野：人間科学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者
選抜方法等	<p>提出された書類（自己推薦書、推薦書及び調査書）並びに前期日程の筆記試験（受験科目は分野・学科別に指定）の結果により、第1次判定合格者を決定します。さらに、第1次判定合格者に対して面接（人間科学関連分野は課題論述及び面接）を行い、総合的に判定のうえ合格者を決定します。</p> <p>なお、人間科学関連分野以外の各分野では、物理、化学、数学、情報分野などの科学コンクール等における実績（自己推薦書に記入のこと）がある場合には、その実績を総合判定において評価します。（詳細は、7月下旬に発表予定の先進科学プログラム（飛び入学）学生募集要項でご確認ください。）</p>
出願期間	平成28年1月25日（月）～2月3日（水）17時必着
選抜期日	筆記試験：平成28年2月25日（木） 面接：平成28年3月13日（日）（人間科学関連分野は課題論述及び面接）
合格発表	平成28年3月20日（日） 〔第1次判定合格者の発表：平成28年3月8日（火）に郵送で通知します。また、先進科学センターのホームページにも掲載します。〕
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・先進科学プログラム入学者の入学料は全額免除されます。 ・先進科学プログラム（飛び入学）学生募集要項 <ul style="list-style-type: none"> ○発表予定時期 平成27年7月下旬 ○請求方法等 テレメール進学サイトのホームページ (http://telemail.jp) から請求することができます。（資料請求番号：982048） <p>また、郵送を希望する場合は、「先進科学プログラム学生募集要項請求」と朱書した封筒に、350円分の郵便切手を貼った返信用封筒（角形2号：約33×24cm、表面に郵便番号、住所、氏名を明記すること）を同封し、下記あてに送付してください。</p> <p style="text-align: center;">千葉大学先進科学センター 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号（TEL：043-290-3521）</p>

・12月に実施する方式Ⅰの入試については44ページを、7月に実施する方式Ⅲの入試については46ページを参照してください。

※ 文学部では、平成28年4月に学部改組を予定しています。この計画は文部科学省の審査を経て確定するものであり、変更があります。（改組の詳細については、4～5ページを参照してください。）

募集分野 [学部・学科]	<ul style="list-style-type: none"> ・物理学関連分野 [理学部 物理学] ・工学関連分野 [工学部 デザイン学科] ・工学関連分野 [工学部 ナノサイエンス学科] ・工学関連分野 [工学部 電気電子工学科]
募集人員	各分野共若干名(特に定員は定めていません。)
出願資格等	<p>学校教育法第90条第1項又は同条第2項の規定により大学入学資格を有する者で、次の二つの要件を満たし、高等学校長等が責任をもって推薦するもの</p> <p>① 平成28年3月31日において年齢が満17歳以下の者(高等学校卒業程度認定試験合格者は満17歳の者)</p> <p>② 次の分野のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理学関連分野：国際物理オリンピックの日本国内予選である全国物理コンテスト物理チャレンジ(※1)の第2チャレンジに出場し、日本代表選手候補者に選抜されたことのある者 ・工学関連分野：工学に関して優れた資質を有し、その探究を志す者
選抜方法等	提出された書類(自己推薦書、推薦書及び調査書等)並びに課題論述により、第1次判定合格者を決定します。さらに、第1次判定合格者に対して面接を行い、総合的に合否を判定します。ただし、物理学関連分野では課題論述を免除します。また、工学関連分野[ナノサイエンス学科]ではISEF(国際学生科学技術フェア)(※2)に個人研究で日本代表として派遣された者については課題論述を免除します。(詳細は、7月下旬に発表予定の先進科学プログラム(飛び入学)学生募集要項でご確認ください。)
出願期間	平成28年6月9日(木)～16日(木)
選抜期日	課題論述：平成28年7月17日(日) 面接：平成28年7月18日(月・祝)
合格発表	平成28年8月4日(木) [第1次判定合格者の発表：平成28年7月18日(月・祝)に学内に掲示します。]
入学日	平成28年9月1日
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・先進科学プログラム入学者の入学料は全額免除されます。 ・先進科学プログラム(飛び入学)学生募集要項 <ul style="list-style-type: none"> ○発表予定時期 平成27年7月下旬 ○請求方法等 テレメール進学サイトのホームページ(http://telemail.jp)から請求することができます。(資料請求番号：983084) <p>また、郵送を希望する場合は、「先進科学プログラム学生募集要項請求」と朱書した封筒に、350円分の郵便切手を貼った返信用封筒(角型2号：約33×24cm、表面に郵便番号、住所、氏名を明記すること)を同封し、下記あてに送付してください。</p> <p style="text-align: center;">千葉大学先進科学センター 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号(TEL:043-290-3521)</p>

(※1) 全国物理コンテスト物理チャレンジ <http://www.jpho.jp/>

特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会主催で、国際物理オリンピック国内予選となっています。

(※2) ISEF(International Science & Engineering Fair)(国際学生科学技術フェア) <http://isef.jp/>

- ・12月に実施する方式Ⅰの入試については44ページを、2,3月に実施する方式Ⅱの入試については45ページを参照してください。

13. 私費外国人留学生入試

私費外国人留学生入試は、次により行います。なお、詳細については、各学部の平成28年度（2016年度）私費外国人留学生入試学生募集要項を参照してください。

1. 募集人員、出願期間、選抜期日、合格発表

学部	募集人員	出願期間	選抜期日	合格発表
文学部	若干名	11月2日(月)～5日(木)	12月12日(土)	1月13日(水)
教育学部		1月25日(月)～27(水)	2月25日(木)～26日(金)	3月8日(火)
法政経学部		11月4日(水)～5日(木)	11月28日(土)	12月16日(水)
理学部		11月2日(月)～5日(木)	11月14日(土)	12月4日(金)
医学部		1月25日(月)～27日(水)	2月25日(木)～26日(金)	3月8日(火)
薬学部		1月25日(月)～27日(水)	2月25日(木)～26日(金)	3月8日(火)
看護学部		1月19日(火)～20日(水)	2月16日(火)	3月8日(火)
工学部		10月29日(木)～11月4日(水)	11月21日(土)	12月4日(金)
園芸学部		11月2日(月)～5日(木)	11月14日(土)	12月4日(金)

※ 文学部では、平成28年4月に学部改組を予定しています。この計画は文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり、変更がありえます。(改組の詳細については、4～5ページを参照してください。)

2. 出願資格

日本国籍を有しない者で、かつ、次の(1)～(4)のすべての要件を満たすもの（大学入試センター試験は免除します。）

- (1) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者（日本国永住者を除く。）
 (2) 次のいずれかに該当する者

(ア) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成28年（2016年）3月までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(注) 「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」は、次のとおりです。

① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者で、18歳に達したもの及び平成28年（2016年）3月までに18歳に達するもの

② 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了し、かつ、18歳に達したもの及び平成28年（2016年）3月までに18歳に達するもの

(イ) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、18歳に達したもの及び平成28年（2016年）3月までに18歳に達するもの

(ロ) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、18歳に達したもの及び平成28年（2016年）3月までに18歳に達するもの

(ハ) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、18歳に達したもの及び平成28年（2016年）3月までに18歳に達するもの

(ニ) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成28年（2016年）3月までに18歳に達するもの

- (3) 日本学生支援機構が実施する日本留学試験において、各学部・学科・課程・分野が指定する科目（48ページ参照）を受験している者。

なお、各学部・学科・課程・分野が指定する科目は、各学部で次のとおり指定する時期に実施した科目であること、「基準点」欄に基準点が記載されている場合はその条件を満たしていることが要件になります。

学部	指定する科目として認める日本留学試験の実施時期
文学部、法政経学部、理学部、工学部	平成27年度（2015年度）6月実施
教育学部、医学部、薬学部、看護学部	平成27年度（2015年度）6月実施、又は平成27年度（2015年度）11月実施
園芸学部	平成26年度（2014年度）11月実施、又は平成27年度（2015年度）6月実施

日本留学試験の受験科目

学部	学科・課程・分野	日本語	総合科目	数学	理 科			科目選択	出題言語	摘 要	基準点	
					物理	化学	生物					
文学部	行動科学科 史学科 日本文化学科 国際言語文化学科	○	○	コース1 又は2					自由 選択		日本語が340点以上，総合科目と数学の合計が280点以上	
教育学部	小学校教員養成課程	○	○	コース1 又は2				2科目 自由選択	日本語	総合科目か 理科を選択	指定する科目それぞれにおいて，得点が60%以上	
	中学校教員養成課程	数学科教育分野	○		コース2	○	○			日本語		
		理科教育，技術科教育の各分野	○		コース2				2科目 自由選択	日本語		
	特別支援教育教員養成課程 幼稚園教員養成課程	家庭科教育分野	○	○	コース1 又は2		○	○		日本語		総合科目か 理科を選択
		国語科教育，社会科教育，音楽科教育，美術科教育，保健体育科教育，英語科教育の各分野	○	○	コース1 又は2					日本語		
		養護教諭養成課程	○		コース1 又は2		○	○		日本語		
法政経学部	法政経学科	○	○	コース1 又は2					日本語		指定する科目それぞれにおいて，得点が75%以上	
理学部	数学・情報数理学科	○		コース2				2科目 自由選択	日本語			
	物理学科	○		コース2	○	○					日本語の得点が70%以上，かつ数学と理科2科目の合計得点が70%以上	
	化学科	○		コース2		○		他1科目 自由選択			化学の得点が70%以上，かつ化学と数学の合計得点が70%以上	
	生物学科	○		コース2			○	他1科目 自由選択			日本語の得点が70%以上，かつ数学と理科2科目の合計得点が70%以上	
	地球科学科	○		コース2				2科目 自由選択				
医学部	医学科	○		コース2				2科目 自由選択	日本語			
薬学部		○		コース2				2科目 自由選択	日本語			
看護学部	看護学科	○		コース2				2科目 自由選択	日本語		指定する科目それぞれにおいて，（日本語については，記述，読解，聴読解，聴解それぞれの領域において）得点が平均点以上	
工学部	建築学科 都市環境システム学科 デザイン学科	○		コース2				2科目 自由選択	自由 選択		指定する科目の合計点が80%以上（850点満点中，680点以上）	
	機械工学科 メディカルシステム工学科 電気電子工学科 ナノサイエンス学科 情報画像学科	○		コース2	○			他1科目 自由選択				
	共生応用化学科 画像科学科	○		コース2	○	○			日本語			
	園芸学部	園芸学科 応用生命化学科	○		コース2				2科目 自由選択	日本語		指定する科目の合計点が75%以上
園芸学部	緑地環境学科	○		コース1 又は2				2科目 自由選択			指定する科目の合計点が70%以上	
	食料資源経済学科	○		コース1 又は2								

(4) 以下の学部・学科・課程・分野において、所定の要件を満たしている者

学部・学科・課程・分野		要件
教育学部	中学校教員養成課程 英語科教育分野	平成26年（2014年）1月以降に実施された「TOEFL」を受験した者
理学部	全学科	平成25年（2013年）11月以降に実施された「TOEFL」又は「TOEIC」を受験した者
医学部	医学科	平成26年（2014年）1月以降に実施された「TOEFL」又は「TOEIC」を受験した者
薬学部		平成26年（2014年）1月以降に実施された「TOEFL」又は「TOEIC」を受験した者
工学部	全学科	平成25年（2013年）11月以降に実施された「TOEFL」又は「TOEIC」を受験した者
園芸学部	全学科	平成25年（2013年）11月以降に実施された「TOEFL」又は「TOEIC」を受験した者

3. 選抜方法

日本留学試験の成績及び本学で実施する以下の学力検査等の成績並びに提出された成績証明書の内容を総合して、合格者を決定します。

なお、出願要件として「TOEFL」又は「TOEIC」を受験していることを要件としている学科等においては、その成績評価証明書の内容も総合して合格者を決定します。

学部・学科・課程・分野		学力検査等の出題教科・科目等	出題範囲等	
文学部	行動科学科 史学科 日本文化学科 国際言語文化学科	面接	面接の際に、英語を含む大学教育に必要な基礎学力に関する口頭試問を行う。	
教育学部	小学校教員養成課程 特別支援教育教員養成課程 幼稚園教員養成課程 養護教諭養成課程	面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎学力に関する口頭試問を行う。	
	中学校教員養成課程	社会科教育, 数学科教育, 理科教育, 技術科教育, 家庭科教育, 英語科教育 の各分野	面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎学力に関する口頭試問を行う。
		国語科教育分野	国語（現代文A・現代文B・古典A・ 古典B）	一般入試の日本人受験者と同じの検査を行う。
			面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎学力に関する口頭試問を行う。
		音楽科教育分野	楽典（聴音を含む）・実技	一般入試の日本人受験者と同じの検査を行う。詳細は28ページ(エ)を参照のこと。
			面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎学力に関する口頭試問を行う。
		美術科教育分野	実技	一般入試の日本人受験者と同じの検査を行う。詳細は50ページ(注)を参照のこと。
	面接		面接の際に、大学教育に必要な基礎学力に関する口頭試問を行う。	
	保健体育科教育分野	実技	一般入試の日本人受験者と同じの検査を行う。	
		面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎学力に関する口頭試問を行う。	
法政経学部	法政経学科	小論文		
		面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎学力に関する口頭試問を行う。	

学部・学科・課程・分野		学力検査等の出題教科・科目等	出題範囲等
理学部	数学・情報数理学科	数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B）	
		面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎 学力に関する口頭試問を行う。
理学部	物理学科 化学科 生物学科 地球科学科	面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎 学力に関する口頭試問を行う。
		面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎 学力に関する口頭試問を行う。
医学部	医学科	数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B）	一般入試の日本人受験者と同一の検 査を行う。
		理科 （物理基礎・物理，化学基礎・化学， 生物基礎・生物から2科目選択）	一般入試の日本人受験者と同一の検 査を行う。
		外国語（コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ）	一般入試の日本人受験者と同一の検 査を行う。
		面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎 学力に関する口頭試問を行う。
薬学部		理科（化学基礎・化学）	一般入試の日本人受験者と同一の検 査を行う。
		面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎 学力に関する口頭試問を行う。
看護 学部	看護学科	小論文	読解力，論理的思考力，日本語での 確に表現できる能力等を評価する。
		面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎 学力に関する口頭試問を行うととも に，コミュニケーション能力，看護 学への関心，日本で看護学を学ぶこ との目的が明確であるか等を評価す る。
工学部	建築学科 都市環境システム学科 デザイン学科 機械工学科 メディカルシステム工学科 電気電子工学科 ナノサイエンス学科 共生応用化学科 画像科学科 情報画像学科	面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎 学力に関する口頭試問を行う。
園芸 学部	園芸学科 応用生命化学科 緑地環境学科 食料資源経済学科	面接	面接の際に、大学教育に必要な基礎 学力に関する口頭試問を行う。

(注) 教育学部中学校教員養成課程 美術科教育分野の実技要領

木炭紙大の用紙に静物デッサンを実施する。表現力，構想力，造形力，物のとらえ方等を総合的に評価する。
用具として木炭，又は鉛筆（2H～6B程度），消しゴム，練りゴム等を持参すること。

14. 次年度入学者選抜方法の変更（予告）

平成 29 年度入学者選抜（平成 29 年 4 月入学）における募集人員等の変更事項を次のとおり予告いたします。

なお、平成 28 年度入学者選抜（平成 28 年 4 月入学）において、国際教養学部を設置、文学部の学部改組、教育学部の一部課程等の学生募集停止並びに千葉大学における全学的な入学定員の移行を予定しています。

国際教養学部を設置、文学部の学部改組については、文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり、審査結果によっては次年度入学者選抜方法の変更（予告）に追加・修正がありえます。

I 一般入試

<募集人員の変更>

平成 29 年度入学者選抜から以下のとおり変更します。

1. 国際教養学部

【変更後】			【変更前】		
学 科	募集人員		学 科	募集人員	
	一般入試			一般入試	
	前期日程	特別入試		前期日程	特別入試
国際教養学科	通常型入試	75	国際教養学科	通常型入試	80
	特色型入試	10		特色型入試	10

2. 園芸学部

【変更後】			【変更前】			
学 科	募集人員		学 科	募集人員		
	一般入試			一般入試		特別入試
	前期日程	後期日程		前期日程	後期日程	推薦入試
園芸学科	44	20	園芸学科	40	20	4
食料資源経済学科	18	11	食料資源経済学科	16	10	3

※ 園芸学科並びに食料資源経済学科における推薦入試（募集人員 計 7 名）を廃止したことに伴い、推薦入試の募集人員を一般入試に移行したことによる変更です。

<指定教科・科目及び出題教科・科目の変更>

平成 29 年度入学者選抜（一般入試）における大学入試センター試験の指定教科・科目、個別学力検査の出題教科・科目等は 53～59 ページのとおりとなります。

なお、今後の状況によっては、変更する可能性もありますので、千葉大学ホームページによる本学からの発表にご注意ください。

（注）

1. 大学入試センター試験の「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業（見込）者に限ります。
2. 大学入試センター試験の各学部・学科・課程・分野が指定する教科・科目において、複数の受験パターンが認められている場合があります。その場合には複数の受験パターンのうち、いずれかの受験パターンを満たしていれば本学の個別学力検査等を受験できます。
なお、複数の受験パターンを満たしている場合には、最も高得点となるパターンで選考を行います。
3. 大学入試センター試験の地理歴史及び公民並びに理科②において、各学部・学科・課程・分野の指定する科目数が 1 科目のところを 2 科目で受験する場合、第 1 解答科目（その教科の試験時間中の前半で解答した科目）で指定する科目を受験してください。（第 1 解答科目の成績を合否判定に利用します。）
なお、第 1 解答科目で指定する科目を受験せず、第 2 解答科目（試験時間中の後半で解答した科目）で指定する科目を受験している場合、失格にはなりませんその科目の成績は 0 点として扱いますので注意してください。
4. 個別学力検査等で出題する科目は、すべての項目を出題範囲とします。ただし、次の科目においては、出題範囲を指定します。

科目名	出題範囲
数学B	『数列』及び『ベクトル』を出題範囲とする。

5. 大学入試センター試験の教科・科目名は、次のように略してあります。

【大学入試センター試験】

・科目名

「世界史A」→世A, 「世界史B」→世B, 「日本史A」→日A, 「日本史B」→日B
「現代社会」→現社, 「倫理」→倫, 「政治・経済」→政, 『倫理, 政治・経済』→倫政経
「数学I」→数I, 『数学I・数学A』→数IA, 「数学II」→数II, 『数学II・数学B』→数IIB
『簿記・会計』→簿, 『情報関係基礎』→情
「物理基礎」→物基, 「化学基礎」→化基, 「生物基礎」→生基, 「地学基礎」→地基
「物理」→物, 「化学」→化, 「生物」→生
『英語』→英, 『ドイツ語』→独, 『フランス語』→仏, 『中国語』→中, 『韓国語』→韓

6. 個別学力検査等の教科・科目名は、次のように略してあります。

【個別学力検査等】

・教科名

国語→国, 地理歴史→地歴, 数学→数, 理科→理, 外国語→外

・科目名

「国語総合」→国総, 「国語表現」→国表, 「現代文A」→現文A, 「現代文B」→現文B
「世界史B」→世B, 「日本史B」→日B
「数学I」→数I, 「数学II」→数II, 「数学III」→数III, 「数学A」→数A, 「数学B」→数B
「物理基礎」→物基, 「化学基礎」→化基, 「生物基礎」→生基, 「地学基礎」→地基
「物理」→物, 「化学」→化, 「生物」→生
「コミュニケーション英語I」→コミュ英I, 「コミュニケーション英語II」→コミュ英II, 「コミュニケーション英語III」→コミュ英III

平成29年度入学者選抜（一般入試）における大学入試センター試験の指定教科・科目について

[表の見方]

大学入試センター試験の指定教科	→
指定する科目	→
指定する科目数	→
指定する科目	→
指定する科目数	→

大学入試センター試験の指定教科・科目																									
パターン	国語		地理歴史		公民		数学①		数学②			理科①		理科②		外国語									
	国語	1	世B	日B	地理B	倫政経	数I	数I A	数II	数II B	簿情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓					
①	1			2			1			1					2						1				
②	1		世B	日B	地理B	倫政経	数I	数I A	数II	数II B <td>簿情</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>物</td> <td>化</td> <td>生</td> <td>地</td> <td>学</td> <td>英</td> <td>独</td> <td>仏</td> <td>中</td> <td>韓</td>	簿情					物	化	生	地	学	英	独	仏	中	韓

指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。

「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業（見込）者に限ります。

(注)理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目（その教科の試験時間中の前半で解答する科目）を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)

(注) 学部・学科・課程・分野ごとに、指定する教科・科目及び指定する科目数が異なりますので注意してください。

(例) 大学入試センター試験の指定教科・科目のパターンが複数ある場合、備考欄で指定教科・科目の受験パターンを確認してください。

パターン①で受験する場合の大学入試センター試験の指定教科、科目の見方は次のとおりです。

国語 : 国語を受験。

地理歴史, 公民 : 世界史B, 日本史B, 地理B, 「倫理, 政治・経済」から2科目を受験。

数学① : 数学I・数学Aから1科目を受験。

数学② : 数学II, 数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から1科目を受験。

理科① : 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目を受験。

理科② : パターン①では、理科②の科目は指定科目となっておりません。

外国語 : 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目を受験。

[大学入試センター試験の指定教科・科目等]

大学入試センター試験の指定教科・科目																							
学部・学科・課程・分野	日程	国語		地理歴史		公民		数学①		数学②			理科①		理科②		外国語						
		国語	1	世B	日B	地理B	倫政経	数I	数I A	数II	数II B	簿情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓		
国際教養学部	前期	①	1			2		1			1					2						1	
		②	1		世B	日B	地理B	倫政経	数I	数I A <td>数II</td> <td>数II B <td>簿情</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1 (注)</td> </td>	数II	数II B <td>簿情</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1 (注)</td>	簿情									1	1 (注)
		③	1		世B	日B	地理B	倫政経	数I	数I A <td>数II</td> <td>数II B <td>簿情</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1 (注)</td> </td>	数II	数II B <td>簿情</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1 (注)</td>	簿情									1	1 (注)
		④	1		世B	日B	地理B	倫政経	数I	数I A <td>数II</td> <td>数II B <td>簿情</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> </td>	数II	数II B <td>簿情</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td>	簿情									1	2

指定教科・科目を受験するパターンは①②③④のいずれでも構いません。

パターン③の理科の選択(基礎を付した科目を2科目受験し、基礎を付さない科目を1科目受験する)において、同一名称を含む科目(例:「物理基礎」と「物理」等)を選択することができません。

(注) 地理歴史及び公民並びに理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)

※国際教養学部は平成28年4月に設置を予定しています。この計画は文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり、変更があります。(詳細については、2〜3ページを参照してください。)

学部・学科・課程・分野		大学入試センター試験の指定教科・科目																		
学	部	日程	パターン		地理歴史		公民		数学①		数学②		理科①		理科②		外国語			
			国語	英語	世B	日B	地理B	倫政経	数I A	数I B	簿情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓
学	部	前期 後期	①	1	2	地理B	倫政経	数I A	数II B	簿情	物基	化基	生基	地基	2	英	独	仏	中	韓
学	部	前期 後期	②	1	1 (注)	地理B	倫政経	数I A	数II B	簿情	物基	化基	生基	地基	2	英	独	仏	中	韓
			備考	指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 英語はリスニングの成績を利用しません。 「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業(見込)者に限ります。 (注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																
文	学	部	①	1	2	地理B	倫政経	数I A	数II B	簿情	物基	化基	生基	地基	2	英	独	仏	中	韓
文	学	部	②	1	2	地理B	倫政経	数I A	数II B	簿情	物基	化基	生基	地基	1 (注)	英	独	仏	中	韓
			備考	指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業(見込)者に限ります。 (注)理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																
学	部	前期	①	1	2	地理B	倫政経	数I A	数II B	簿情	物基	化基	生基	地基	2	英	独	仏	中	韓
学	部	前期	②	1	2	地理B	倫政経	数I A	数II B	簿情	物基	化基	生基	地基	1 (注)	英	独	仏	中	韓
			備考	指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理数科以外の卒業(見込)者に限ります。 (注)理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																

※文学部は平成28年4月に学部改組を予定しています。この計画は文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり、変更がありえます。(詳細については、4～5ページを参照してください。)

大学入試センター試験の指定教科・科目																									
学部・学科・課程・分野	日程	パターン	地理歴史		公民		数学①		数学②		理科①		理科②		外国語										
			国語	世B	日B	地理B	現社	倫政経	数I	数IA	数II	数IIB	簿情	物基	化基	生基	地基	英	独	仏	中	韓			
小学校教員養成課程 中学校教員養成課程 国語科教育, 音楽科教育, 保健体育科教育, 家庭科教育 の各分野 特別支援教育教員養成課程 幼稚園教員養成課程	前期	①	1	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
			1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
			1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
中学校教員養成課程 社会科教育, 美術科教育, 英語科教育 の各分野	前期	①	1	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
			1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
			1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
中学校教員養成課程 数学科教育, 理科教育, 技術科教育 の各分野 養護教諭養成課程	前期	①	1	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
			1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
			1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
教育学部		備考	指定教科・科目を受験するパターンは①②③④のいずれでも構いません。 パターン③の理科の選択(基礎を付した科目を2科目受験し、基礎を付さない科目を1科目受験する)において、同一名称を含む科目(例:「物理基礎」と「物理」等)を選択することができません。 「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理科科目以外の卒業(見込)者に限ります。 (注)地理歴史及び公民並びに理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																						
			指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理科科目以外の卒業(見込)者に限ります。 (注)理科②において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																						
			指定教科・科目を受験するパターンは①②③④のいずれでも構いません。 パターン①の理科の選択(基礎を付した科目を2科目受験し、基礎を付さない科目を1科目受験する)において、同一名称を含む科目(例:「物理基礎」と「物理」等)を選択することができません。 「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理科科目以外の卒業(見込)者に限ります。 (注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																						
			指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の普通科・理科科目以外の卒業(見込)者に限ります。 (注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合は、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																						

大学入試センター試験の指定教科・科目

学部・学科・課程・分野	日程	パターン	指定教科・科目																
			地理歴史		公民		数学①		数学②		理科①		理科②		外国語				
薬学部 薬学科 薬科学科	前期	①	国語	世B	日B	地理B			倫政経	数IA	数IIB			物化生	英	独	仏	中	韓
	備考		1	1 (注)						1	1	2							1
	後期	①	国語	世B	日B	地理B			倫政経	数IA	数IIB			物化生	英	独	仏	中	韓
	備考		1	1 (注)						1	1	(1)		1	(1)				1
看護学部 看護学科	前期	①	国語	世B	日B	地理B			倫政経	数IA	数IIB			物化生	英	独	仏	中	韓
	備考		1	1 (注)						1	1	2							1
工学部 建築学科 都市環境システム学科 デザイン学科 機械工学科 メカトロニクス工学科 電気電子工学科 ナノサイエンス学科 共生応用化学科 画像科学科 情報画像科学科	前期	①	国語	世B	日B	地理B			倫政経	数IA	数IIB			物化	英	独	仏	中	韓
	備考		1	1 (注)						1	1	2							1
園芸学部 応用生命化学科 緑地環境学科	前期	①	国語	世B	日B	地理B			倫政経	数IA	数IIB			物化生	英	独	仏	中	韓
	備考		1	1 (注)						1	1	2							1
園芸学部 食料資源経済学科	前期	②	国語	世B	日B	地理B			倫政経	数IA	数IIB			物化生	英	独	仏	中	韓
	備考		1	1 (注)						1	1	2							1
	後期	備考	(注) 地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合判定に利用します。)																
	後期	備考	(注) 地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合判定に利用します。)																
	後期	備考	(注) 地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合判定に利用します。)																
	後期	備考	(注) 地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合判定に利用します。)																

平成29年度入学者選抜(一般入試)における個別学力検査等の出題教科・科目等について

学 部	学科・課程・選修・分野	前期日程	後期日程
国際教養学部 ※設置予定	国際教養学科 【通常型入試】	国(国総・国表・現文A・現文B・古典A・古典B)又は 理(物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から1) 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B)又は 地歴(世B, 日Bから1) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
	国際教養学科 【特色型入試】	小論文 面接(英語)	
文学部 ※改組予定	行動科学科	国(国総・国表・現文A・現文B・古典A・古典B) 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	小論文
	史学科	国(国総・国表・現文A・現文B・古典A・古典B) 地歴(世B, 日Bから1) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	小論文 面接
	日本文化学科	外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	小論文
	国際言語文化学科		
教育学部	小学校教員養成課程	国語科選修 社会科選修 算数科選修 理科選修 家庭科選修 教育学選修 教育心理学選修 ものづくり・技術選修 小学校英語選修	国(現文A・現文B・古典A・古典B)または数(数Ⅰ・数A) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ) 面接
		音楽科選修 図画工作科選修 体育科選修	実技(音楽, 図工, 体育に関する実技から1) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ) 面接
		国語科教育分野	国(現文A・現文B・古典A・古典B) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ) 専門適性検査
	中学校教員養成課程	社会科教育分野	小論文 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ) 専門適性検査
		数学科教育分野	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ) 専門適性検査
		理科教育分野	理(物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から2) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ) 専門適性検査
		音楽科教育分野	実技 ※注を参照 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ) 専門適性検査
		美術科教育分野	実技 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ) 専門適性検査
		保健体育科教育分野	実技 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ) 専門適性検査
		技術科教育分野	数(数Ⅰ・数A) 専門適性検査 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)
		家庭科教育分野	小論文 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ) 専門適性検査
		英語科教育分野	外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ) ライティング(英語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ) 専門適性検査
		特別支援教育教員養成課程	国(現文A・現文B・古典A・古典B)または数(数Ⅰ・数A) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ) 専門適性検査
	幼稚園教員養成課程	国(現文A・現文B・古典A・古典B)または数(数Ⅰ・数A) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ) 専門適性検査	
	養護教諭養成課程	保健体育(保健) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ) 面接	

学 部	学科・課程・選修・分野	前期日程	後期日程
法政経学部	法政経学科	国(国総・国表・現文A・現文B・古典A・古典B) 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	総合テスト
理学部	数学・情報数理学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から1) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)
	物理学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物, 化基・化) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	総合テスト
	化学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(化基・化) (物基・物, 生基・生, 地基・地学から1) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	理(化基・化)
	生物学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(生基・生) (物基・物, 化基・化から1) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	理(生基・生)
	地球科学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から2) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	理(地基・地学)
医学部	医学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物, 化基・化, 生基・生から2) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ) 面接	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物, 化基・化, 生基・生から2) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ) 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 面接
薬学部	薬学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(化基・化)	総合テスト
	薬科学科	外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	
看護学部	看護学科	理(物基・物, 化基・化, 生基・生から2) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ) 面接	
工学部	建築学科		専門適性検査
	都市環境システム学科		数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 総合テスト
	機械工学科		数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物)
	メディカルシステム工学科		数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物, 化基・化)
	電気電子工学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物, 化基・化) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物)
	共生応用化学科		数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物, 化基・化)
	画像科学科		数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物, 化基・化)
	情報画像学科		数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物)
	ナノサイエンス学科		数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物, 化基・化)
	デザイン学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物, 化基・化から1) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ) 専門適性検査	専門適性検査
園芸学部	園芸学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B)	総合テスト
	応用生命化学科	理(物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から1) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	理(物基・物, 化基・化, 生基・生から2)
	緑地環境学科		小論文
	食料資源経済学科	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B) 外(コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ)	小論文

(注) 小論文, 総合テスト, 専門適性検査, 実技等の出題範囲等については, 平成28年7月頃に公表する平成29年度入学者選抜要項又は平成28年11月頃に公表する平成29年度一般入試学生募集要項にて公表します。

教育学部中学校教員養成課程音楽科教育分野の出題教科・科目等については, 平成29年度入学者選抜より「楽典(聴音を含む)・実技」から「実技※聴音を含む」に変更となります。詳細については平成28年7月頃に公表する平成29年度入学者選抜要項の実技の実施要領を参照してください。

※ 平成28年4月に国際教養学部の設置及び文学部の学部改組を予定しています。この計画は文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり, 変更がありえます。(改組の詳細については, 2~5ページを参照してください。)

II 特別入試

<AO入試>

平成 29 年度入学者選抜から、国際教養学部においてAO入試（募集人員 5 名）を新設する予定です。詳細については、現時点では未定であり、後日公表します。

<推薦入試>

平成 29 年度入学者選抜から、以下のとおり変更します。

1. 園芸学部

園芸学科並びに食料資源経済学科における推薦入試（募集人員 計 7 名）を廃止します。

<社会人入試>

平成 29 年度入学者選抜から、以下のとおり変更します。

1. 園芸学部

園芸学科における社会人入試（募集人員 若干名）を廃止します。

<私費外国人留学生入試>

平成 29 年度入学者選抜から、以下のとおり変更します。

1. 教育学部中学校教員養成課程

【変更後】

分野	学力検査等の出題教科・科目等
音楽科教育分野	実技 面接

【変更前】

学力検査等の出題教科・科目等
楽典（聴音を含む）・実技 面接



<先進科学プログラム（飛び入学）学生選抜>

1. 方式 I

平成 29 年度入学者選抜から、募集分野を以下のとおり変更します。

【変更後】

募集分野 [学部・学科]
<ul style="list-style-type: none"> ・物理学関連分野 [理学部 物理学科] ・工学関連分野 [工学部 ナノサイエンス学科]

【変更前】

募集分野 [学部・学科]
<ul style="list-style-type: none"> ・物理学関連分野 [理学部 物理学科] ・工学関連分野 [工学部 建築学科] ・工学関連分野 [工学部 都市環境システム学科] ・工学関連分野 [工学部 デザイン学科] ・工学関連分野 [工学部 機械工学科] ・工学関連分野 [工学部 メディカルシステム工学科] ・工学関連分野 [工学部 電気電子工学科] ・工学関連分野 [工学部 ナノサイエンス学科] ・工学関連分野 [工学部 画像科学科] ・工学関連分野 [工学部 情報画像学科]



2. 方式Ⅱ

平成 29 年度入学者選抜から、募集分野及び出題教科・科目を以下のとおり変更します。

【変更後】

募集分野 [学部・学科]
・物理学関連分野 [理学部 物理学科]
・物理化学・生命化学関連分野 [理学部 化学科]
・工学関連分野 [工学部 建築学科]
・工学関連分野 [工学部 都市環境システム学科]
・工学関連分野 [工学部 デザイン学科]
・工学関連分野 [工学部 機械工学科]
・工学関連分野 [工学部 メディカルシステム工学科]
・工学関連分野 [工学部 電気電子工学科]
・工学関連分野 [工学部 ナノサイエンス学科]
・工学関連分野 [工学部 画像科学科]
・工学関連分野 [工学部 情報画像学科]
・人間科学関連分野 [文学部 行動科学科]

【変更前】

募集分野 [学部・学科]
・物理学関連分野 [理学部 物理学科]
・物理化学・生命化学関連分野 [理学部 化学科]
・工学関連分野 [工学部 電気電子工学科]
・工学関連分野 [工学部 ナノサイエンス学科]
・工学関連分野 [工学部 画像科学科]
・工学関連分野 [工学部 情報画像学科]
・人間科学関連分野 [文学部 行動科学科]

←

【変更後】

コース	方式Ⅱの出題教科・科目
物理学	数 学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) 理 科 (物理基礎・物理, 化学基礎・化学) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ)
物理化学・生命化学	数 学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B) 理 科 (化学基礎・化学) (物理基礎・物理, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学から事前に1つ選択) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ)

【変更前】

方式Ⅱの出題教科・科目
数 学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) 理 科 (物理基礎・物理) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ)
数 学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B) 理 科 (物理基礎・物理, 化学基礎・化学から事前に1つ選択) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ)

←

←

(備考) フロンティアテクノロジーコース及び人間探求コースの出題教科・科目には変更ありません。

<園芸産業創発学プロジェクト選抜>

平成 29 年度入学者選抜から、園芸産業創発学プロジェクト選抜を新設します。

募集人員	園芸学科 若干名, 食料資源経済学科 若干名																
出願資格等	<p>次の①～③の要件をすべて満たす者</p> <p>① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成 29 年（2017 年）3 月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき平成 28 年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む）および平成 26 年（2014 年）4 月以降に卒業した者</p> <p>② 次の英語外部検定試験のいずれかの条件を満たしている者</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>(1) 実用英語技能検定</td> <td>2 級以上</td> </tr> <tr> <td>(2) GTEC for STUDENTS</td> <td>650 点以上</td> </tr> <tr> <td>(3) TOEFL iBT</td> <td>52 点以上</td> </tr> <tr> <td>(4) TOEIC</td> <td>500 点以上</td> </tr> </table> <p>上記のスコアを証明する書類は、出願書類と同時に提出する必要があります。</p> <p>③ 平成 29 年度大学入試センター試験で指定する教科・科目（選抜方法を参照）を受験する者</p>	(1) 実用英語技能検定	2 級以上	(2) GTEC for STUDENTS	650 点以上	(3) TOEFL iBT	52 点以上	(4) TOEIC	500 点以上								
(1) 実用英語技能検定	2 級以上																
(2) GTEC for STUDENTS	650 点以上																
(3) TOEFL iBT	52 点以上																
(4) TOEIC	500 点以上																
選抜方法等	<p>模擬実習（または模擬実験）への参加，模擬講義の受講，模擬講義に関するレポート作成およびプレゼンテーションならびに面接試験により，総合判定のうえ合格内定者を決定します。更に，平成 29 年度大学入試センター試験で指定する以下の教科・科目の総得点が 60%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th colspan="4">大学入試センター試験の指定教科・科目</th> </tr> <tr> <th colspan="2">指定教科・科目</th> <th colspan="2">指定科目数</th> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>物理，化学，生物，地学</td> <td>1 科目</td> <td>計 2 科目</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>数学Ⅱ・数学 B</td> <td>1 科目</td> <td>200 点満点</td> </tr> </table>	大学入試センター試験の指定教科・科目				指定教科・科目		指定科目数		理科	物理，化学，生物，地学	1 科目	計 2 科目	数学	数学Ⅱ・数学 B	1 科目	200 点満点
大学入試センター試験の指定教科・科目																	
指定教科・科目		指定科目数															
理科	物理，化学，生物，地学	1 科目	計 2 科目														
数学	数学Ⅱ・数学 B	1 科目	200 点満点														
出願期間	平成 28 年 11 月上旬																
選抜期日	平成 28 年 11 月中旬～下旬のうち、連続する 2 日間（土曜日及び日曜日）																
合格発表	平成 29 年 2 月上旬 [合格内定者の発表：平成 28 年 12 月上旬]																
その他	<p>出願時に，面接資料として，次世代園芸産業に関連する関心事と将来のキャリアプラン等を記載した「志望理由書」（書式は募集要項に示したものとする），調査書および推薦書の提出を求めます。</p> <p>合格者は，それぞれの学科に属し，学科のカリキュラムを履修すると同時に，1 年次から園芸産業創発学プロジェクト専門科目を履修します。</p> <p>本プロジェクトでは，高度な技術と優れた国際感覚，経営感覚を備えた次世代園芸産業に関わるエキスパートの養成を目指して学部・修士一貫教育を行います。また，実業界と連携した実践演習・総合演習を積極的に実施します。</p>																

15. 学部への問い合わせ及び一般入試・特別入試学生募集要項等の請求方法

一般入試学生募集要項（願書）は、裏表紙（裏面）に記載している請求方法を参照の上、ご請求ください。

学部への問い合わせ及び特別入試学生募集要項の請求方法については、下記をご参照ください。なお、各学部へのメールによる請求・問い合わせについては、各学部メールアドレス一覧が千葉大学ホームページ内 (<http://www.chiba-u.jp/>) に記載されていますので、そちらをご覧ください。また、入試全般の問い合わせは、学務部入試課入試係（TEL：043-290-2182）までご連絡ください。

◎募集要項の請求方法

志望学部の窓口で配付します。直接来訪することができない場合は、以下の方法でご請求ください。

【テレメールによる請求方法】

テレメール進学サイトのホームページ (<http://telemail.jp/shingaku/>) から募集要項を請求することができます。なお、一部の特別入試は、テレメールでの取扱いができないため、【郵送による請求方法】にてご請求ください。

【郵送による請求方法】

次のとおり返信用封筒を作成して、各志望学部へ直接ご請求ください。

- ・角形2号の封筒（約33×24cm）を用意し、表面に返信先の郵便番号、住所、氏名を明記
 - ・「〇〇学部△△学生募集要項請求」（〇〇には学部名を、△△には推薦入試等の特別入試名を記入）と朱書して、料金分の郵便切手（下表の「郵便切手料金（重量）」欄を参照）を貼る
- 注)一部の募集要項はゆうメールで送付するため、同じ重量でも郵便切手料金が異なります。

志望学部	請求・問い合わせ先 ※電話での問い合わせは、月曜日から金曜日（祝日を除く。）の9時から17時までの間とし、原則として志願者本人が行ってください。	特別入試募集要項発表(発送)予定時期並びに【郵便による請求方法】で請求する場合の郵便切手料金		
		特別入試名	発表(発送)予定時期	郵便切手料金(重量)
国際教養学部	千葉大学企画政策課国際教養学部設置準備担当 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 TEL：043-290-2496 FAX：043-290-2022	平成28年度入学者選抜においては特別入試を実施しません。		
文学部	千葉大学人文社会科学系 学部学務グループ 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 TEL:043-290-3631, 043-290-2352 FAX:043-290-2356	推薦入試	7月中旬	140円(100g)
		社会人入試	7月中旬	140円(100g)
		私費外国人留学生入試	7月中旬	140円(100g)
教育学部	千葉大学教育学部学務室入試係 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 TEL:043-290-2515 FAX:043-290-2504	A〇入試	6月中旬	205円(150g)
		推薦入試	7月中旬	180円(150g)
		私費外国人留学生入試	11月上旬	180円(150g)
法政経学部	千葉大学人文社会科学系 学部学務グループ 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 TEL:043-290-2350 FAX:043-290-2356	経済学特進プログラム選抜	7月下旬	140円(100g)
		私費外国人留学生入試	7月下旬	140円(100g)
理学部	千葉大学理学部学務係 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 TEL:043-290-2880 FAX:043-290-2874	推薦入試	7月下旬	140円(100g)
		私費外国人留学生入試	7月下旬	140円(100g)
医学部	千葉大学医学部 学部学務係 〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号 TEL:043-226-2008 FAX:043-226-2502	私費外国人留学生入試	11月	140円(100g)
薬学部	千葉大学薬学部学務係 〒260-8675 千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号 TEL:043-226-2941 FAX:043-226-2857	推薦入試	7月中旬	140円(100g)
		帰国子女入試(4月入学)	7月中旬	140円(100g)
		帰国子女入試(9月入学)	3月下旬	140円(100g)
		私費外国人留学生入試	11月	140円(100g)
看護学部	千葉大学看護学部 学部学務係 〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号 TEL:043-226-2381 FAX:043-226-2382	推薦入試	6月上旬	140円(100g)
		社会人入試	6月上旬	205円(150g)
		私費外国人留学生入試	11月上旬	140円(100g)
工学部	千葉大学工学系事務センター学部学務グループ 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 TEL:043-290-3054 FAX:043-290-3076	理数大好き学生選抜	7月中旬	180円(150g)
		私費外国人留学生入試	7月中旬	180円(150g)
園芸学部	千葉大学園芸学部学務係 〒271-8510 松戸市松戸648番地 TEL:047-308-8712 FAX:047-308-8720	推薦入試	7月中旬	180円(150g)
		社会人入試	7月中旬	180円(150g)
		私費外国人留学生入試	7月中旬	180円(150g)

※「先進科学プログラム(飛び入学)学生募集要項」の請求方法等は44～46ページを参照してください。

MEMO

一般入試学生募集要項（願書）の請求方法（11月に発送開始予定）

1 千葉大学のホームページから請求する

千葉大学のホームページからテレメール等を利用して募集要項等の資料が請求できます。
詳しくは千葉大学ホームページ（<http://www.chiba-u.jp>）の〈入試案内〉にアクセスして、〈資料請求〉画面（<http://www.chiba-u.jp/others/request/index.html>）をご覧ください。

2 テレメールで請求する

① インターネット（パソコン，スマートフォン，携帯電話）又は電話にて請求ください。

インターネット (共通アドレス)	https://telemail.jp	国際教養(設置予定)・ 文・教育・法政経	理・医・薬・看護・ 工・園芸
			
電 話	I P 電話 050-8601-0101 (24 時間受付) 一般電話回線からの通話料金は，日本全国どこからでも3分ごとに約12円です。		

② 請求したい資料に対応する次の資料請求番号（6桁）を入力してください。

- ・一般入試学生募集要項のみ請求する場合…… 581802
- ・一般入試学生募集要項及び千葉大学案内を請求する場合…… 541802

※QRコードを読み取りアクセスした場合は，資料請求番号の入力は不要です。

※送料は資料到着後の後払いとなります。ゆうメール相当額をお届けする資料に同封されている支払方法に従いお支払いください。（払込手数料が別途必要になります。）

③ 画面の案内や音声ガイダンスに従って登録してください。

3 郵便局で請求する（10月から予約受付開始）

郵便局に設置される「国公立大学・短期大学及び通信教育課程，大学校募集要項（願書）請求申込書」（郵便局用願書請求カタログ）に必要事項を記入のうえ，送料及び払込手数料を添えて郵便局窓口で申し込んでください。

上記1～3の請求方法についての問い合わせは

テレメールカスタマーセンター 050-8601-0102 (9:30～18:00) まで

4 その他

千葉大学学務部入試課，及び志望学部で直接配付もしています。

